

四日市市高齢者介護に関する調査結果報告書

〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〕

令和2年3月
四日市市

目次

I	調査の概要	1
	1. 調査の目的	1
	2. 調査の方法	1
	3. 配布・回収数	1
	4. 報告書の見方(注意事項)	1
II	調査結果	2
	ご本人について	2
	問1 あなたのご家族や生活状況について	6
	問2 からだを動かすことについて	8
	問3 食べることについて	21
	問4 毎日の生活について	24
	問5 地域での活動について	36
	問6 たすけあいについて	46
	問7 健康について	62
	問8 在宅医療や認知症対策について	69
	問9 これからの高齢者介護について	82

I 調査の概要

1. 調査の目的

四日市市では、令和3年度からの次期「介護保険事業計画」および「高齢者福祉計画」の策定作業を進めています。この調査は、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の福祉全般にかかわる各種サービス提供を充実させるための基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

2. 調査の方法

- ①調査対象地域 四日市市全域
- ②調査対象者 四日市市にお住まいの介護保険の第1号被保険者(65歳以上)であって、介護保険の要介護認定を受けていない人、要支援1と要支援2の認定を受けている人、及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者の判定を受けている人
- ③調査期間 令和元年12月(調査基準日は令和元年12月1日)
- ④調査方法 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3. 配布・回収数

配布数	回収数	回収率	白紙回答	有効回収数	有効回収率
2,000	1,488	74.4%	5	1,483	74.2%

4. 報告書の見方(注意事項)

- ① グラフおよび表中のN数(number of case)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
- ② 調査結果(表中)の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ⑤ 参考として代表的な設問に対しクロス集計分析を行っています。その際、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。
- ⑥ 性・年齢別クロス集計については、『64歳以下男』、『65～74歳男』、『75～84歳男』、『85歳以上男』、『64歳以下女』、『65～74歳女』、『75～84歳女』、『85歳以上女』の8区分で集計します。
- ⑦ 地区別クロス集計については、日常生活圏域のブロックである『北ブロック』、『中ブロック』、『南ブロック』の3区分での集計を基本とし、必要に応じて24の日常生活圏域別の集計を行います。なお、『わからない』については回答者数が少ないため本報告書では割愛しています。

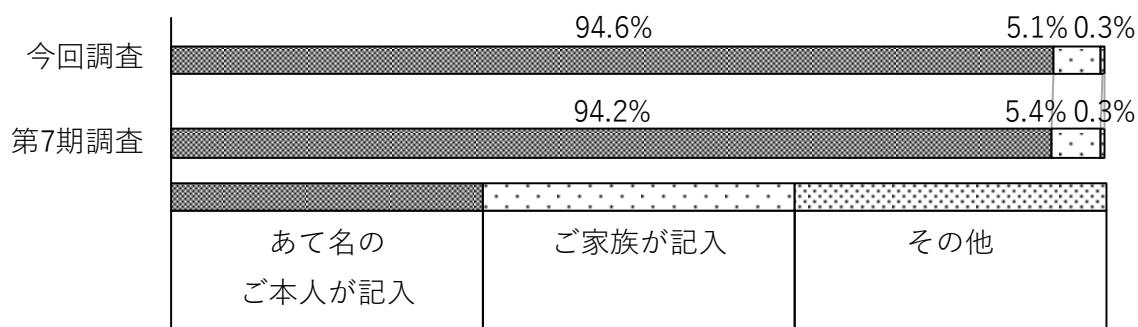
II 調査結果

ご本人について

(1) 調査票を記入されるのはどなたですか。(〇はひとつ)

【N=1,399、1,470(第7期調査)】

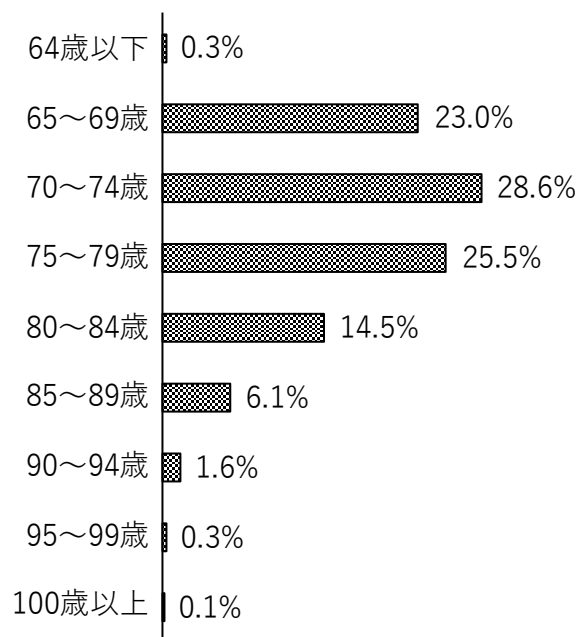
調査票の記入者については、「本人」が94.6%を占めています。



(2) 令和元年12月1日現在のあなたの年齢を教えてください。(〇はひとつ)

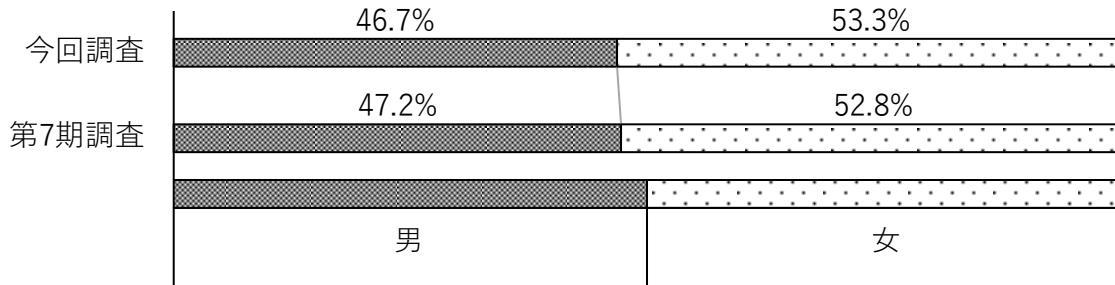
【N=1,445】

年齢については、「70～74歳」が28.6%と最も高く、以下、「75～79歳」(25.5%)、「65～69歳」(23.0%)、「80～84歳」(14.5%)と続いています。



(3) あなたの性別を教えてください。(○はひとつ) 【N=1,338、1,391(第7期調査)】

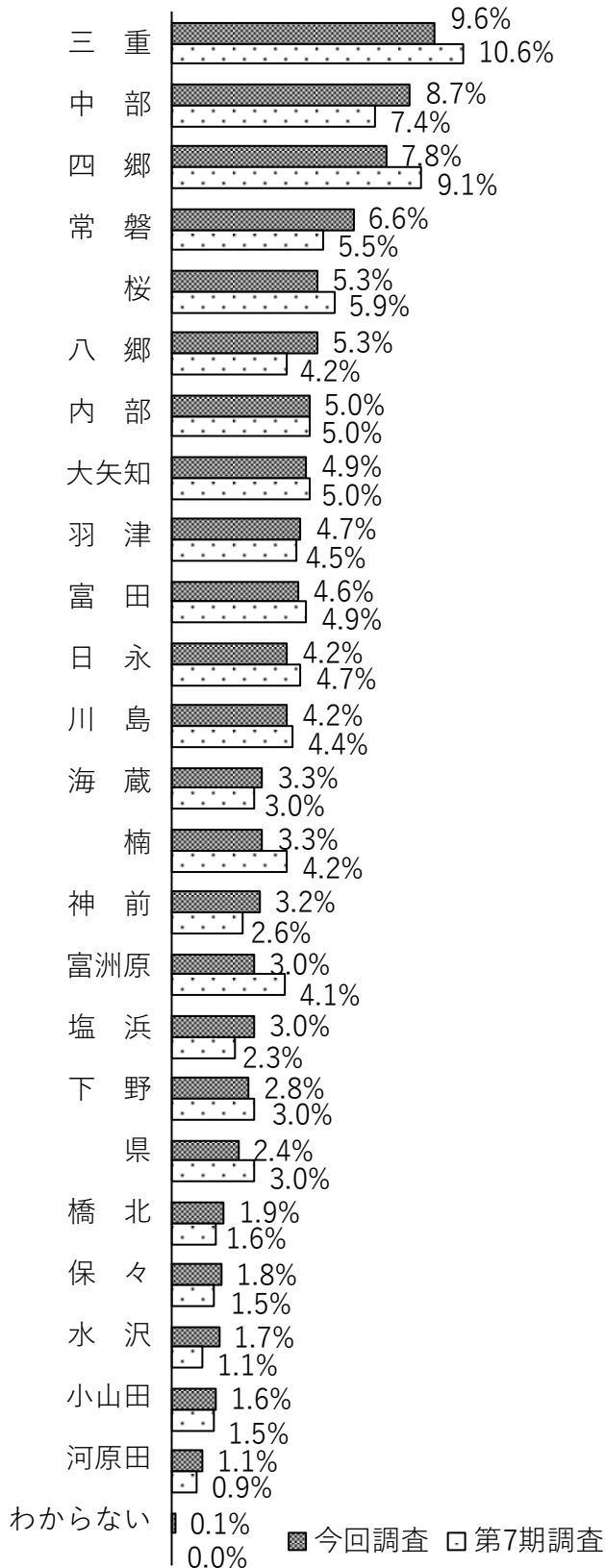
性別については、「男性」が46.7%、「女性」が53.3%と、「女性」が「男性」を6.6ポイント上回っています。



(4) あなたは、現在、どちらにお住まいですか。(〇はひとつ)

【N=1,445、1,518(第7期調査)】

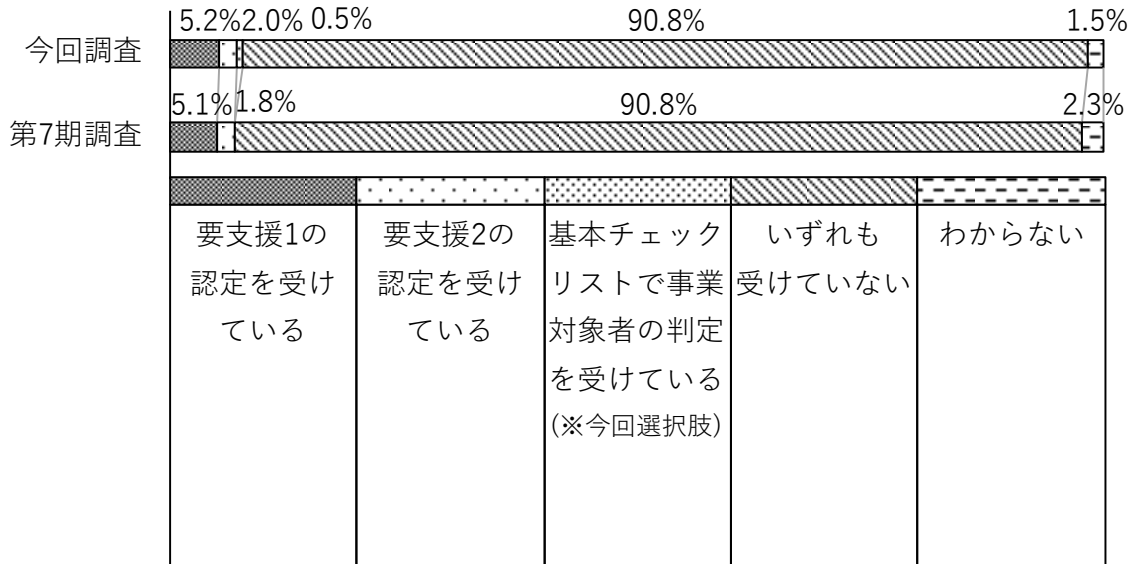
居住地区については、「三重」が9.6%で最も高く、次いで「中部」(8.7%)、「四郷」(7.8%)と続いています。



(5) あなたは、介護保険の要支援認定などを受けていますか。(〇はひとつ)

【N=1,429、1,506(第7期調査)】

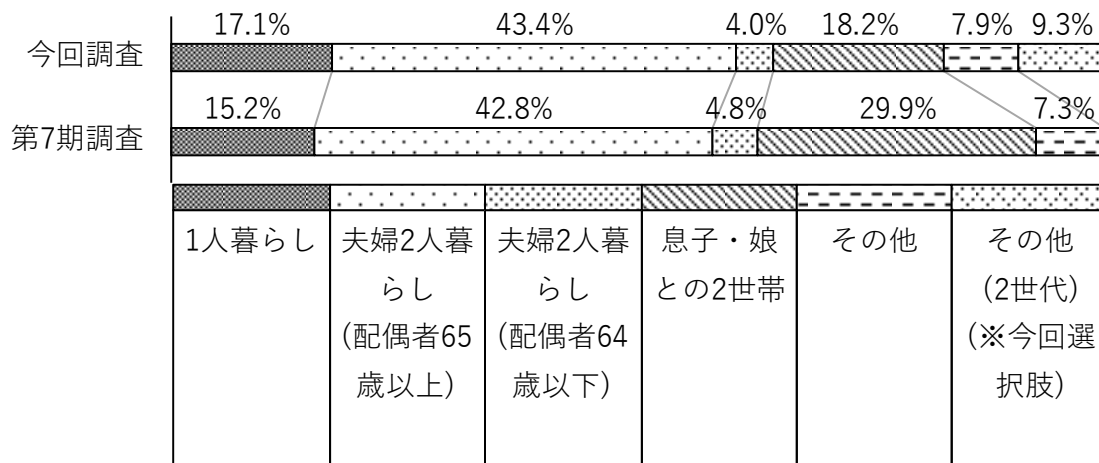
介護保険の要介護認定については、「いずれも受けていない」が90.8%を占めており、「要支援1の認定を受けている」は5.2%、「要支援2の認定を受けている」は2.0%となっています。



問 1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(〇はひとつ) 【N=1,441、1,517(第7期調査)】

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が43.4%で最も高く、次いで、「息子・娘との2世帯」が18.2%、「1人暮らし」が17.1%と続いています。

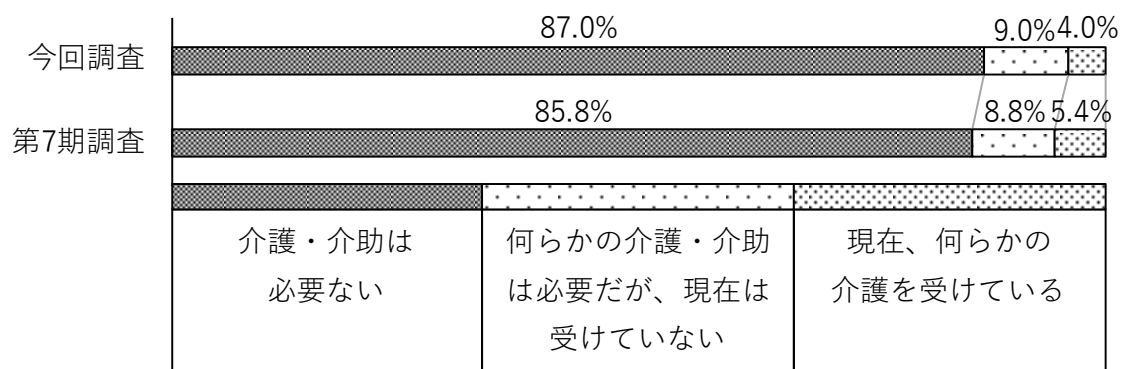


(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。(〇はひとつ)

【N=1,441、1,512(第7期調査)】

普段の生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が87.0%を占め、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.0%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.0%となっています。

第7期調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」が1.2ポイント上昇する一方、「現在、何らかの介護を受けている」は1.4ポイント低下しています。



性・年齢別クロス

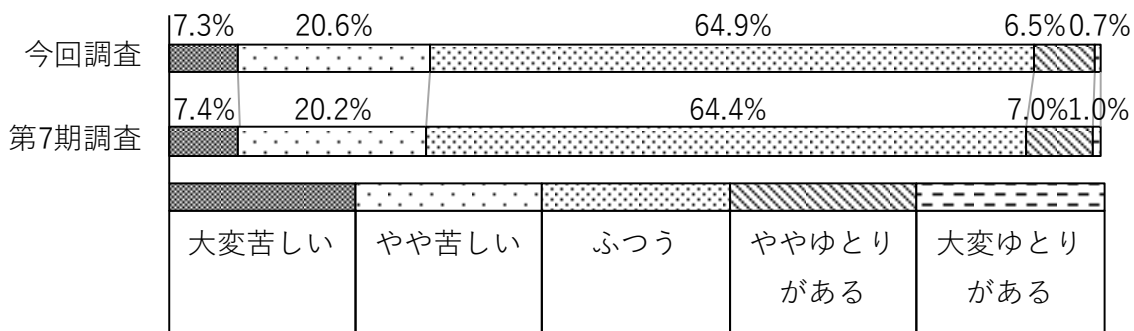
性・年齢別にみると、「現在、何らかの介護を受けている」は『85歳以上女』が30.4%と高く、いずれの年齢も男性より女性が高くなっています。

		合計	介護・介助は必要ない	て必 い要 ない だか いが 、 介 護 現 在 は 介 助 け は	受現 け在 、 何 ら か の 介 護 を
65～74歳	計	708	94.9	4.0	1.1
	男	332	95.8	3.3	0.9
	女	376	94.1	4.5	1.3
75～84歳	計	512	84.2	12.1	3.7
	男	247	85.8	11.3	2.8
	女	265	82.6	12.8	4.5
85歳以上	計	98	57.1	21.4	21.4
	男	42	59.5	31.0	9.5
	女	56	55.4	14.3	30.4

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

【N=1,443、1,524(第7期調査)】

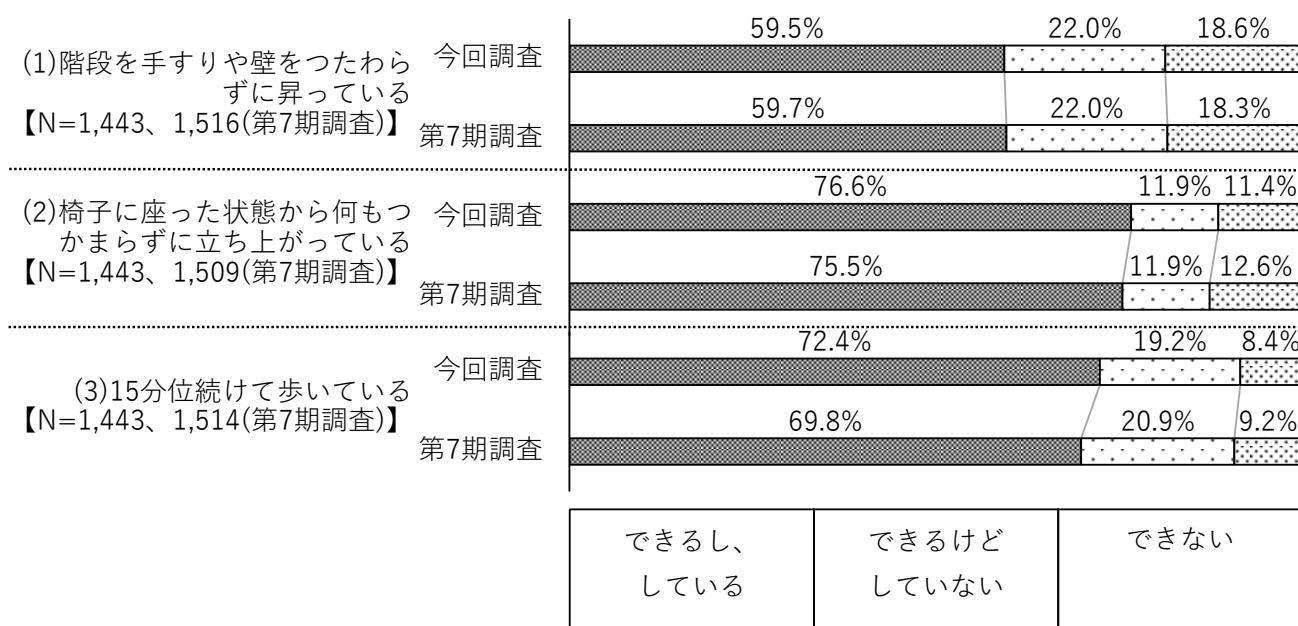
現在の暮らしの経済的状況については、「ふつう」と回答した人が64.9%を占めています。一方、「大変苦しい」(7.3%)、「やや苦しい」(20.6%)と回答した『苦しいと感じている人』は27.9%となっています。



問2 からだを動かすことについて

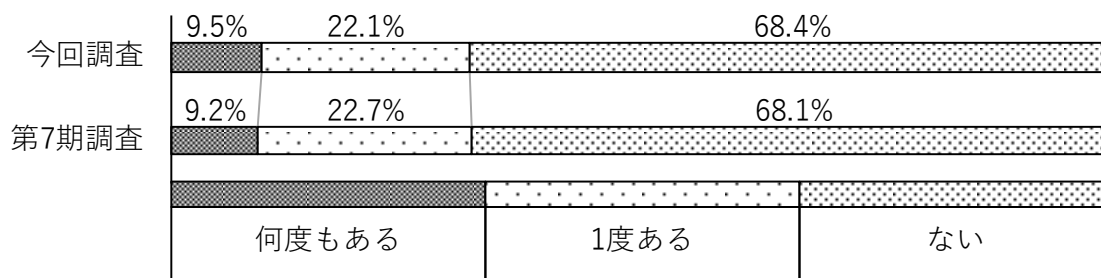
- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)
 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)
 (3) 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

からだを動かすことについては、階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できない」と回答した人が18.6%と、他に比べて高くなっています。また、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることや、15分位続けて歩くことについて、「できるし、している」と回答した人が70%以上を占めています。



- (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)
 【N=1,448、1,525(第7期調査)】

転んだ経験については、「ない」と回答した人が68.4%を占めています。

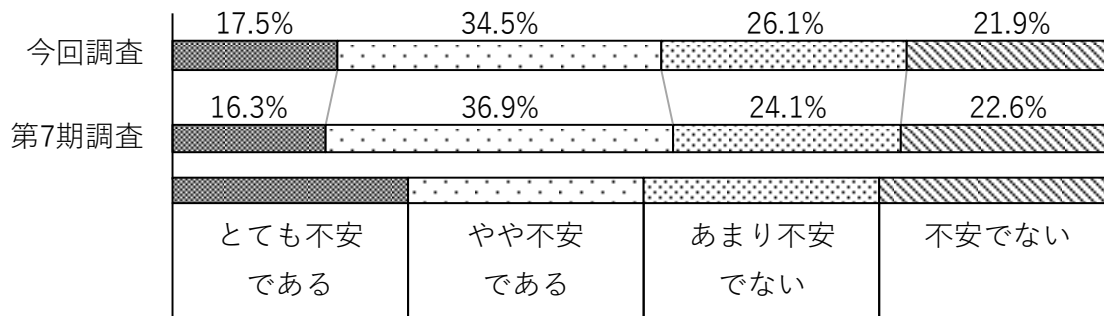


(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

【N=1,449、1,524(第7期調査)】

転倒に対する不安については、『不安である』(「とても不安である」と「やや不安である」の合計)は52.0%、『不安でない』(「あまり不安でない」と「不安でない」の合計)は48.0%となっており、転倒の経験は今現在あまりないものの、転倒への不安についてはある程度持っていることがうかがえます。

第7期調査と比較すると、『不安でない』が1.3ポイント上昇しています。

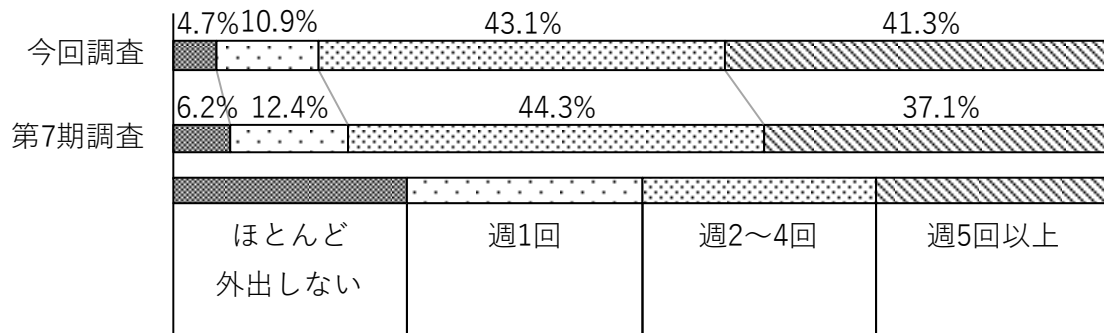


(6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

【N=1,449、1,527(第7期調査)】

外出については、「ほとんど外出しない」と回答した人は僅か4.7%と少なく、ほとんどの人が週1回以上は外出しています。

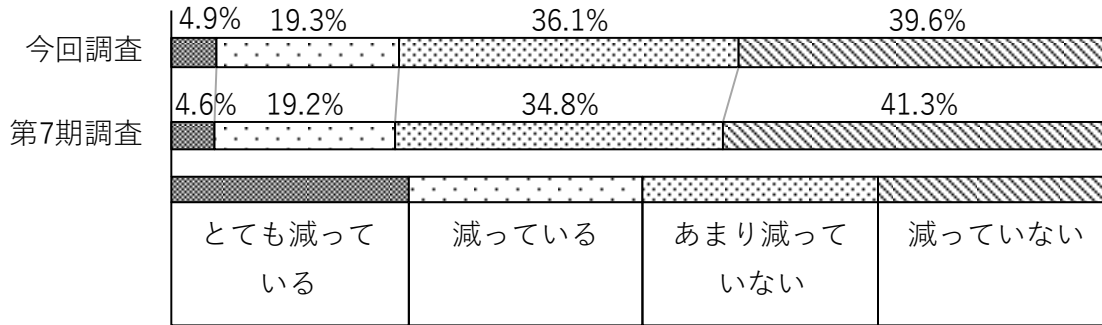
第7期調査と比較すると、「週5回以上」が4.2ポイント上昇しています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

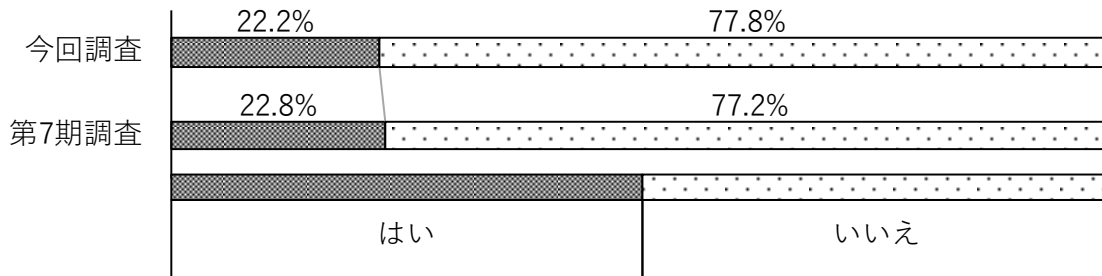
【N=1,469、1,529(第7期調査)】

外出の回数については、『減っていない』(「あまり減っていない」と「減っていない」の合計)が75.7%を占めています。一方、『減っている』(「とても減っている」と「減っている」の合計)は24.2%となっています。



(8) 外出を控えていますか。(○はひとつ) 【N=1,401、1,441(第7期調査)】

外出を控えているかについては、「はい」が22.2%、「いいえ」が77.8%となっています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、外出を控えている人は年齢が上がるに従い割合が高くなり、『男性』よりも『女性』の割合の方が高くなっています。

		合計	はい	いいえ
65～74歳	計	678	10.2	89.8
	男	315	7.0	93.0
	女	363	12.9	87.1
75～84歳	計	486	28.4	71.6
	男	234	20.5	79.5
	女	252	35.7	64.3
85歳以上	計	96	61.5	38.5
	男	42	54.8	45.2
	女	54	66.7	33.3

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、外出を控えている人は『1人暮らし』では29.8%に上っています。

	合計	はい	いいえ
全体	1363	21.7	78.3
1人暮らし	225	29.8	70.2
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	594	18.4	81.6
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	56	10.7	89.3
息子・娘との 2世帯	248	22.6	77.4
その他	111	23.4	76.6
その他(2世代)	129	24.8	75.2

認定状況別クロス

認定状況別にみると、外出を控えている人は『要支援1』では66.2%、『要支援2』では82.1%に上ります。

	合計	はい	いいえ
全体	1350	21.6	78.4
要支援1	71	66.2	33.8
要支援2	28	82.1	17.9
事業対象者	7	57.1	42.9
受けていない	1226	17.2	82.8
わからない	18	38.9	61.1

ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの圏域でも外出を控えている人は20%前後となっています。

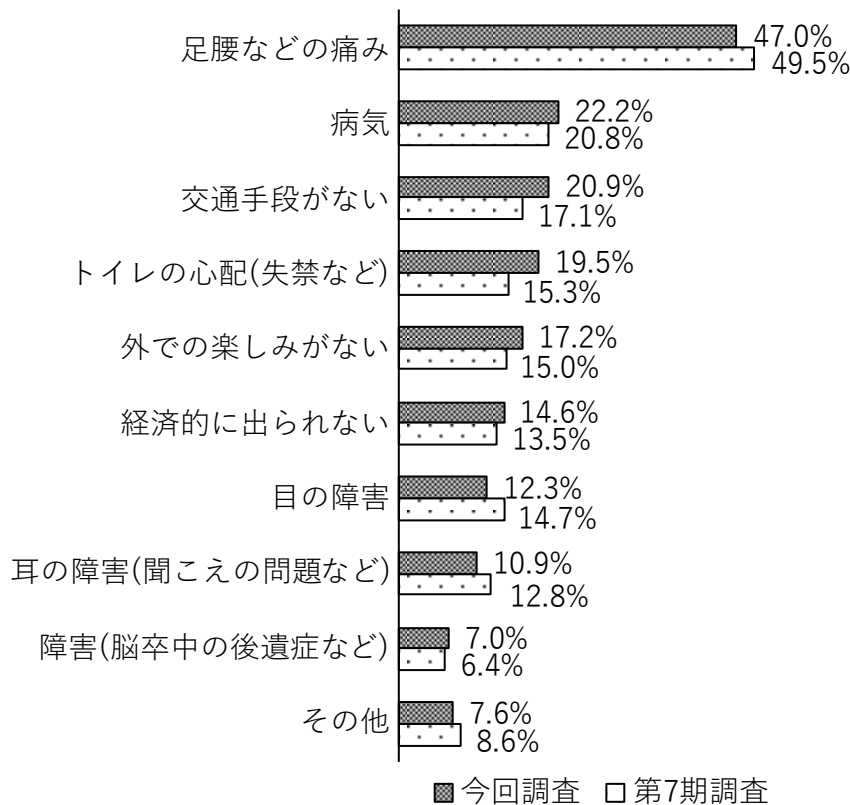
	合計	はい	いいえ
全体	1366	21.7	78.3
北ブロック	410	22.9	77.1
中ブロック	487	19.9	80.1
南ブロック	467	22.7	77.3

【(8)で「1.はい」(外出を控えている)を選んだ人に伺います。】

(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(当てはまるものすべてに○)
【N=302、327(第7期調査)】

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が47.0%と最も高く、次いで、「病気」が22.2%、「交通手段がない」が20.9%と続いています。

第7期調査と比較すると、「トイレの心配(失禁など)」が4.2ポイント、「交通手段がない」が3.8ポイント、それぞれ上昇しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『65～74歳男』では「外での楽しみがない」が最も高くなっています。その他の性・年齢では全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高くなっており、特に、『85歳以上女』では69.7%と高くなっています。

		合計	病気	後遺害 障害（脳卒中 など）	足腰 などの 痛み	（トイレ の心配 など）	え耳 の問題 （聞こ え）	目の 障害	ない外 での楽 しみが	ない経 済的に 出られ	交通 手段が ない	その他
65～74歳	計	69	26.1	4.3	34.8	11.6	5.8	4.3	20.3	29.0	10.1	13.0
	男	22	22.7	9.1	22.7	13.6	4.5	9.1	31.8	27.3	9.1	13.6
	女	47	27.7	2.1	40.4	10.6	6.4	2.1	14.9	29.8	10.6	12.8
75～84歳	計	134	24.6	7.5	46.3	23.9	9.0	11.9	13.4	11.9	24.6	3.7
	男	46	26.1	10.9	34.8	28.3	8.7	19.6	26.1	10.9	15.2	6.5
	女	88	23.9	5.7	52.3	21.6	9.1	8.0	6.8	12.5	29.5	2.3
85歳以上	計	56	16.1	7.1	57.1	23.2	25.0	21.4	16.1	-	23.2	7.1
	男	23	21.7	13.0	39.1	26.1	34.8	17.4	21.7	-	30.4	13.0
	女	33	12.1	3.0	69.7	21.2	18.2	24.2	12.1	-	18.2	3.0

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高くなっています。また、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「その他」も同率で高くなっています。

	合計	病気	後遺害 障害（脳卒中 など）	足腰 などの 痛み	（トイレ の心配 など）	え耳 の問題 （聞こ え）	目の 障害	ない外 での楽 しみが	ない経 済的に 出られ	交通 手段が ない	その他
全体	287	22.3	7.0	48.4	19.9	11.1	12.2	16.7	14.3	20.6	6.6
1人暮らし	64	18.8	4.7	50.0	14.1	9.4	14.1	15.6	18.8	23.4	3.1
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	107	29.9	10.3	48.6	15.9	12.1	13.1	20.6	15.0	18.7	3.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	6	16.7	-	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3
息子・娘との 2世帯	55	14.5	1.8	56.4	27.3	12.7	12.7	10.9	10.9	21.8	7.3
その他	25	20.0	12.0	40.0	28.0	4.0	8.0	24.0	12.0	20.0	16.0
その他(2世代)	30	20.0	6.7	40.0	26.7	13.3	10.0	13.3	13.3	23.3	10.0

認定状況別クロス

認定状況別にみると、『事業対象者』と『わからない』では「交通手段がない」が、その他の認定状況では全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高くなっています。

	合計	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の問題など（聞こえ）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他
全体	283	21.9	6.0	48.1	20.1	10.6	11.0	16.6	14.5	21.2	7.1
要支援1	45	22.2	11.1	62.2	13.3	15.6	15.6	11.1	11.1	31.1	4.4
要支援2	21	14.3	9.5	57.1	28.6	4.8	4.8	23.8	-	52.4	9.5
事業対象者	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.7	-
受けていない	207	23.2	4.3	44.9	20.3	10.1	10.1	16.9	16.4	14.0	7.7
わからない	7	-	-	28.6	28.6	-	14.3	28.6	28.6	57.1	-

ブロック別クロス

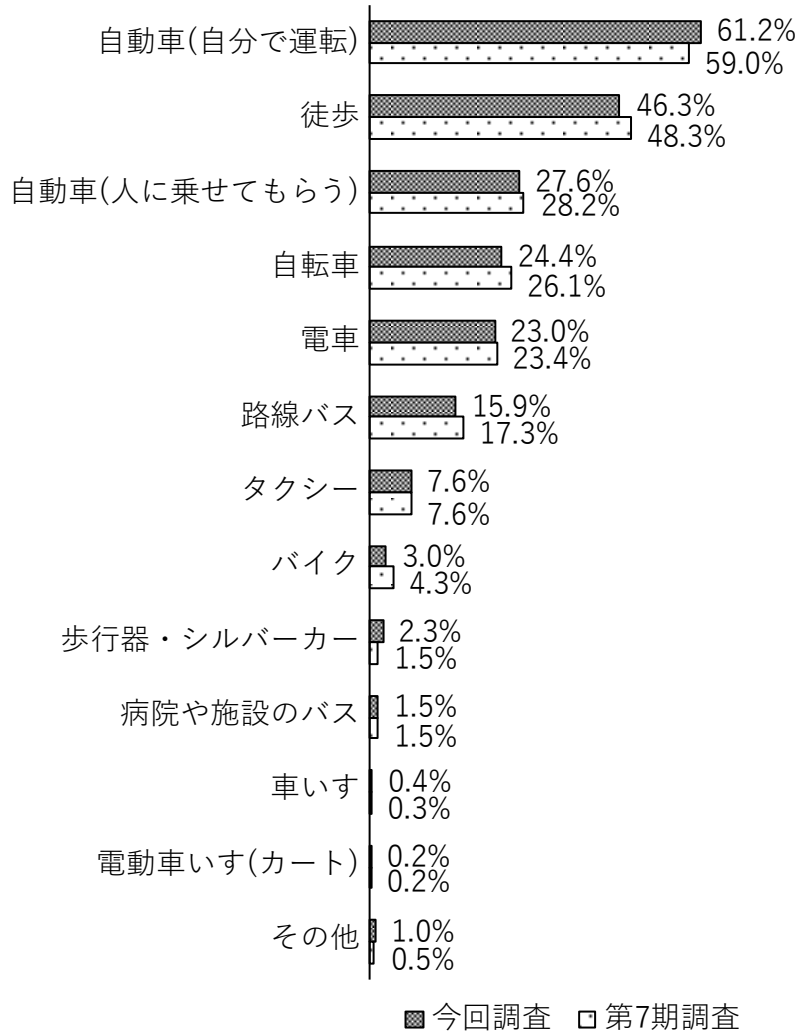
いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高くなっています。また、『北ブロック』では「トイレの心配」が、『中ブロック』では「交通手段がない」が、『南ブロック』では「病気」が、それぞれ2番目に高くなっています。

	合計	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の問題など（聞こえ）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他
全体	288	22.2	6.9	47.9	19.8	11.5	12.5	16.7	14.2	20.8	7.3
北ブロック	91	18.7	6.6	58.2	22.0	6.6	12.1	20.9	13.2	17.6	6.6
中ブロック	94	23.4	7.4	35.1	19.1	13.8	10.6	17.0	17.0	26.6	7.4
南ブロック	103	24.3	6.8	50.5	18.4	13.6	14.6	12.6	12.6	18.4	7.8

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=1,449、1,492(第7期調査)】

外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が61.2%で最も高く、次いで、「徒歩」(46.3%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(27.6%)、「自転車」(24.4%)が続いています。

第7期調査と比較すると、「自動車(自分で運転)」が2.2ポイント上昇する一方、「徒歩」や「自転車」、「自動車(人に乗せてもらう)」、「路線バス」、「バイク」などは1~2ポイント低下しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『65～74歳』の男女と、『75～84歳男』では「自動車(自分で運転)」が、『75～84歳女』では「徒歩」が、その他の性・年齢では「自動車(人に乗せてもらう)」が最も高くなっています。また、『85歳以上』の男女では「タクシー」が約20%と、他の性・年齢に比べて高くなっています。

		合計	徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	せ自動車 てもら う(人 に乗)	電車	路線 バス	ス病 院や 施設 のバ	車 い す	(電 動 車 い す (カ ー ト ー)	バ ー カ ー 歩 行 器 ・ シ ル	タ ク シ ー	そ の 他
65～74歳	計	701	46.2	23.1	3.3	75.9	23.5	27.1	14.8	0.4	0.1	-	0.4	3.6	0.4
	男	329	49.2	25.2	2.7	86.6	10.0	28.6	13.7	0.6	-	-	-	4.0	-
	女	372	43.5	21.2	3.8	66.4	35.5	25.8	15.9	0.3	0.3	-	0.8	3.2	0.8
75～84歳	計	503	49.3	28.0	3.6	50.3	29.6	21.9	18.9	1.4	0.4	-	2.4	10.7	1.2
	男	241	50.6	25.3	2.5	75.5	16.2	21.2	15.4	1.2	-	-	0.8	7.1	0.8
	女	262	48.1	30.5	4.6	27.1	42.0	22.5	22.1	1.5	0.8	-	3.8	14.1	1.5
85歳以上	計	97	36.1	17.5	1.0	17.5	41.2	8.2	14.4	6.2	2.1	1.0	10.3	20.6	3.1
	男	42	35.7	23.8	-	26.2	38.1	7.1	21.4	4.8	-	2.4	4.8	23.8	-
	女	55	36.4	12.7	1.8	10.9	43.6	9.1	9.1	7.3	3.6	-	14.5	18.2	5.5

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも「自動車(自分で運転)」が最も高く、「徒歩」が続いています。

		合計	徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	せ自動車 てもら う(人 に乗)	電車	路線 バス	ス病 院や 施設 のバ	車 い す	(電 動 車 い す (カ ー ト ー)	バ ー カ ー 歩 行 器 ・ シ ル	タ ク シ ー	そ の 他
全体		1408	46.6	24.5	3.0	61.5	27.6	23.2	15.9	1.5	0.4	0.1	2.3	7.6	1.0
1人暮らし		242	48.3	29.8	1.7	49.2	19.8	28.1	15.7	2.5	0.4	-	5.4	9.9	1.2
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)		612	48.9	23.5	2.9	65.5	29.2	23.2	16.5	1.1	0.3	0.3	1.1	7.0	0.5
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)		57	36.8	22.8	10.5	80.7	15.8	29.8	19.3	1.8	-	-	-	5.3	-
息子・娘との 2世帯		256	44.5	23.0	3.9	58.2	34.4	18.8	16.0	1.2	0.8	-	3.1	7.8	1.2
その他		112	42.0	27.7	1.8	63.4	24.1	22.3	14.3	1.8	-	-	2.7	5.4	1.8
その他(2世代)		129	45.0	20.2	1.6	62.0	28.7	20.9	13.2	1.6	0.8	-	0.8	8.5	2.3

認定状況別クロス

認定状況別にみると、『要支援1』と『要支援2』では「自動車(人に乗せてもらう)」が、『受けていない』では「自動車(自分で運転)」が、『事業対象者』と『わからない』では「徒歩」が、それぞれ最も高くなっています。また、『事業対象者』では「タクシー」が42.9%に上り、他の認定状況に比べて特に高くなっています。

	合計	徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	せ自動車 てもら う(人 に乗)	電車	路線 バス	ス病 院や 施設 のバ	車 い す	(電 動 車 い す カ ー ト)	歩 行 器 ・ シ ル	タ ク シ ー	そ の 他
全体	1396	46.7	24.6	3.0	61.5	27.6	23.4	16.1	1.5	0.4	0.1	2.3	7.6	1.0
要支援1	67	31.3	10.4	3.0	17.9	41.8	11.9	13.4	7.5	3.0	-	11.9	25.4	3.0
要支援2	29	20.7	3.4	3.4	6.9	69.0	-	6.9	27.6	10.3	3.4	27.6	31.0	3.4
事業対象者	7	85.7	28.6	-	28.6	14.3	28.6	28.6	-	-	-	28.6	42.9	-
受けていない	1272	47.8	25.7	3.1	65.5	25.8	24.6	16.3	0.6	0.1	0.1	1.1	5.9	0.9
わからない	21	52.4	28.6	-	47.6	38.1	14.3	23.8	4.8	-	-	-	9.5	-

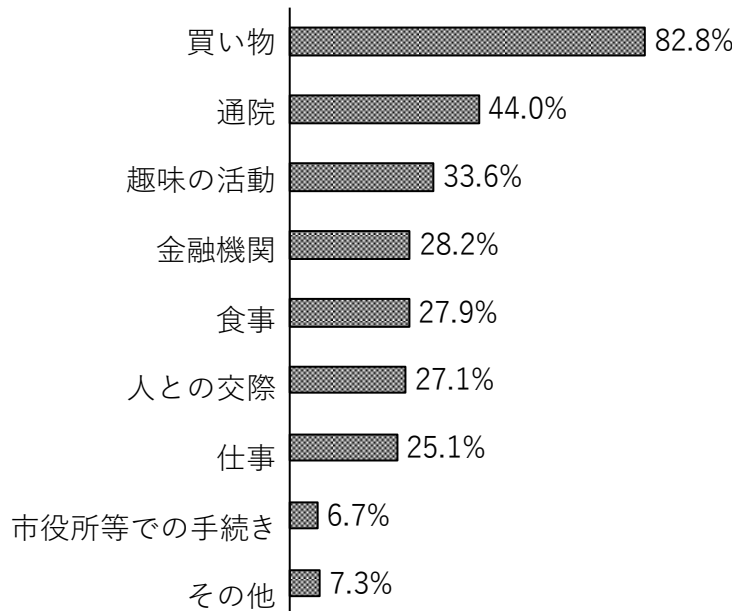
ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの圏域でも全体結果と同様に「自動車(自分で運転)」が最も高く、「徒歩」が続いています。

	合計	徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	せ自動車 てもら う(人 に乗)	電車	路線 バス	ス病 院や 施設 のバ	車 い す	(電 動 車 い す カ ー ト)	歩 行 器 ・ シ ル	タ ク シ ー	そ の 他
全体	1412	46.6	24.4	3.0	61.3	27.8	23.2	15.9	1.5	0.4	0.1	2.3	7.6	1.0
北ブロック	424	48.3	25.9	5.7	61.1	28.5	25.7	11.3	1.9	0.5	-	2.6	7.8	1.2
中ブロック	503	47.7	22.7	2.0	63.8	25.4	20.9	18.7	1.8	0.4	0.2	0.8	8.0	1.6
南ブロック	483	43.9	24.6	1.7	58.6	29.8	23.4	17.0	0.8	0.4	0.2	3.5	7.0	0.2

(10) 外出する際の目的で多いもの(月に数回程度あるもの)はどれですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=1,464】

外出する際の目的で多いものについては、「買い物」が82.8%で最も高く、次いで、「通院」(44.0%)、「趣味の活動」(33.6%)、「金融機関」(28.2%)が続いています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも全体結果と同様に「買い物」が最も高く、「通院」が続いています。「通院」については、年齢が上がるに従い割合が高くなっています。

		合計	買い物	仕事	通院	趣味の活動	人との交際	食事	金融機関	続き市役所等での手	その他
65～74歳	計	705	84.8	38.4	36.5	37.3	29.1	32.6	29.1	6.4	6.0
	男	325	76.9	47.7	34.2	39.1	28.6	35.4	23.1	7.7	5.5
	女	380	91.6	30.5	38.4	35.8	29.5	30.3	34.2	5.3	6.3
75～84歳	計	511	81.6	11.2	50.1	33.7	27.0	25.6	27.6	7.2	9.6
	男	245	73.9	16.3	48.6	37.6	28.2	31.4	20.0	4.9	11.8
	女	266	88.7	6.4	51.5	30.1	25.9	20.3	34.6	9.4	7.5
85歳以上	計	100	71.0	4.0	62.0	15.0	17.0	13.0	26.0	8.0	10.0
	男	42	69.0	7.1	59.5	14.3	14.3	2.4	26.2	11.9	9.5
	女	58	72.4	1.7	63.8	15.5	19.0	20.7	25.9	5.2	10.3

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「買い物」が最も高くなっています。次いで、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』と『その他』では「仕事」が、その他の世帯状況では「通院」が続いています。

	合計	買い物	仕事	通院	趣味の活動	人との交際	食事	金融機関	続き市役所等での手	その他
全体	1426	82.5	25.0	44.2	34.2	27.1	28.0	28.3	6.7	7.4
1人暮らし	244	86.1	21.7	43.9	34.0	26.6	23.0	32.4	11.1	7.0
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	619	84.7	24.7	43.9	36.3	29.1	31.3	27.3	5.7	6.5
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	58	74.1	46.6	25.9	36.2	19.0	34.5	17.2	1.7	3.4
息子・娘との 2世帯	261	80.1	20.3	50.2	30.3	27.2	25.3	32.6	5.7	8.8
その他	113	75.2	36.3	31.9	33.6	17.7	23.9	22.1	8.0	7.1
その他(2世代)	131	80.9	22.9	53.4	31.3	29.8	27.5	27.5	6.9	12.2

認定状況別クロス

認定状況別にみると、『要支援1』と『要支援2』では「通院」が、その他の認定状況では「買い物」が、それぞれ最も高くなっています。

	合計	買い物	仕事	通院	趣味の活動	人との交際	食事	金融機関	続き市役所等での手	その他
全体	1413	82.7	24.9	44.1	34.3	27.3	28.0	28.4	6.7	7.3
要支援1	73	67.1	1.4	69.9	6.8	17.8	21.9	24.7	12.3	8.2
要支援2	28	57.1	-	64.3	7.1	7.1	14.3	10.7	-	25.0
事業対象者	7	85.7	14.3	57.1	42.9	42.9	-	42.9	-	-
受けていない	1284	84.2	26.6	41.9	36.4	28.2	28.5	28.7	6.4	6.9
わからない	21	81.0	38.1	57.1	33.3	28.6	47.6	38.1	19.0	4.8

ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「買い物」が最も高くなっています。

	合計	買い物	仕事	通院	趣味の活動	人との交際	食事	金融機関	続き市役所等での手	その他
全体	1428	82.6	24.9	44.1	34.0	27.2	27.9	28.2	6.7	7.4
北ブロック	433	83.6	22.4	44.3	35.1	28.6	29.3	28.6	5.5	7.6
中ブロック	507	84.8	26.0	42.0	34.1	26.8	31.0	28.4	8.1	6.3
南ブロック	486	79.4	25.9	46.3	32.9	26.3	23.7	27.8	6.4	8.2

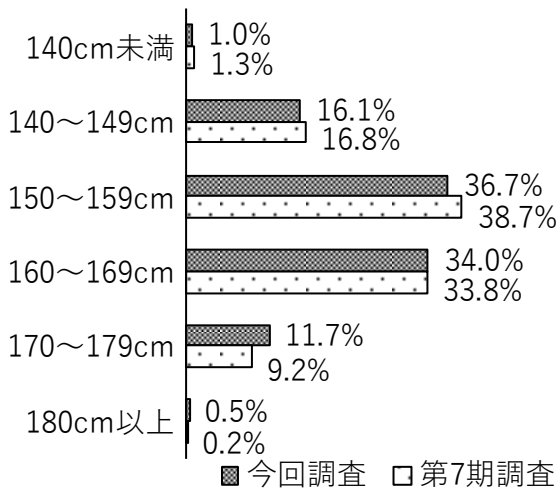
問3 食べることについて

(1) 身長・体重について、数字をご記入ください。

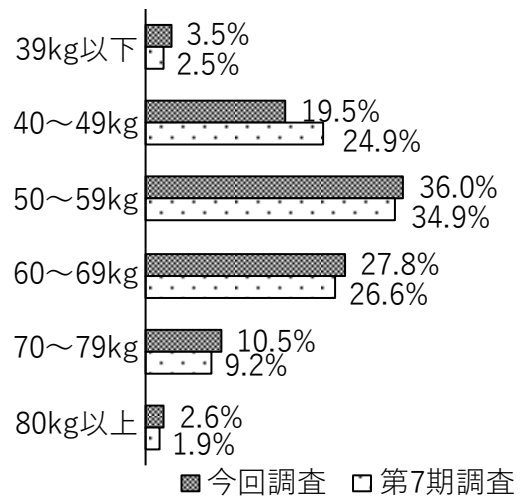
身長については、「150～159cm」が36.7%で最も高く、次いで、「160～169cm」(34.0%)、「140～149cm」(16.1%)が続いています。体重については、「50～59kg」が36.0%で最も高く、「60～69kg」(27.8%)、「40～49kg」(19.5%)が続いています。

身長・体重から求めたBMIによる体格は、「普通」が68.7%で最も高くなっています。また、「やせ」は9.4%と低く、『肥満』は合わせて22.0%となっています。

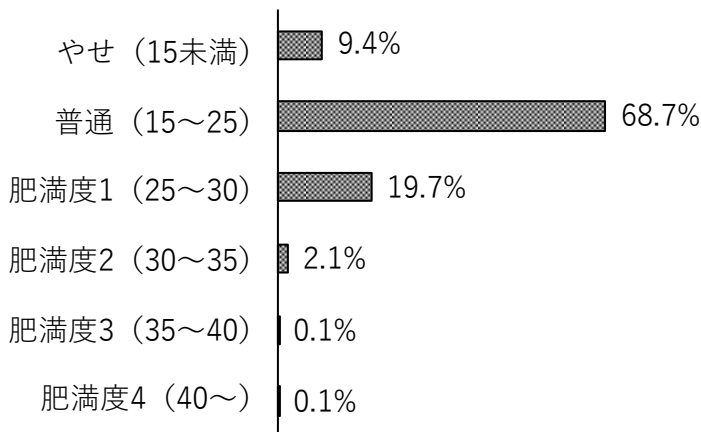
○身長【N=1,457、1,508(第7期調査)】



○体重【N=1,449、1,509(第7期調査)】



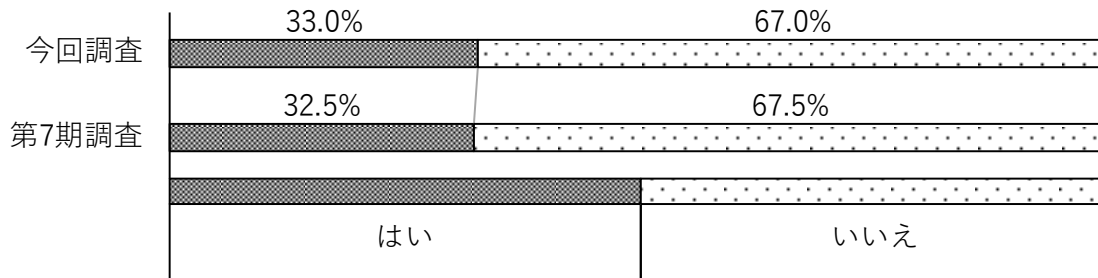
○BMI【N=1,443】



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

【N=1,470、1,497(第7期調査)】

摂食状況については、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」に「はい」と回答した人が33.0%あり、摂食に不自由さを感じ始めている人が少なからずみられます。

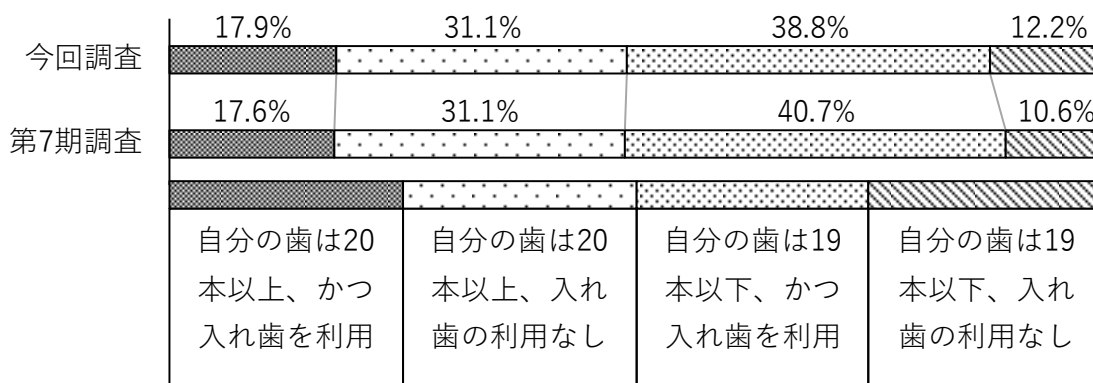


(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○はひとつ)

【N=1,448、1,493(第7期調査)】

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.8%で最も高く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(31.1%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(17.9%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(12.2%)の順となっています。『入れ歯を利用』している人は合わせて56.7%となっています。

第7期調査と比較すると、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が1.6ポイント上昇し、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が1.9ポイント低下しています。

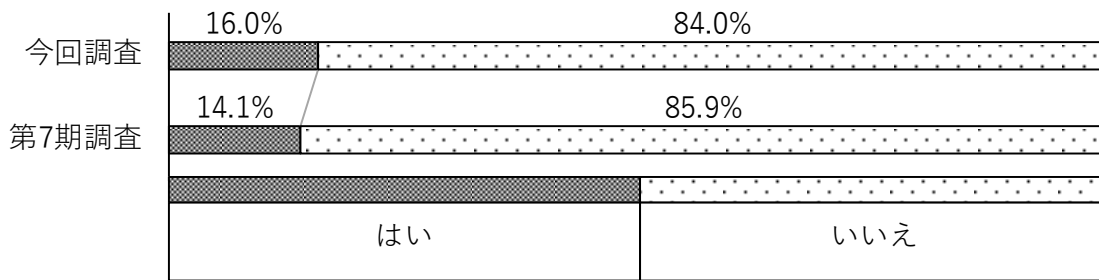


(4) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○はひとつ)

【N=1,466、1,507(第7期調査)】

体重の減少については、6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人は16.0%、なかった人は84.0%となっています。

第7期調査と比較すると、体重減少があった人が1.9ポイント上昇しています。

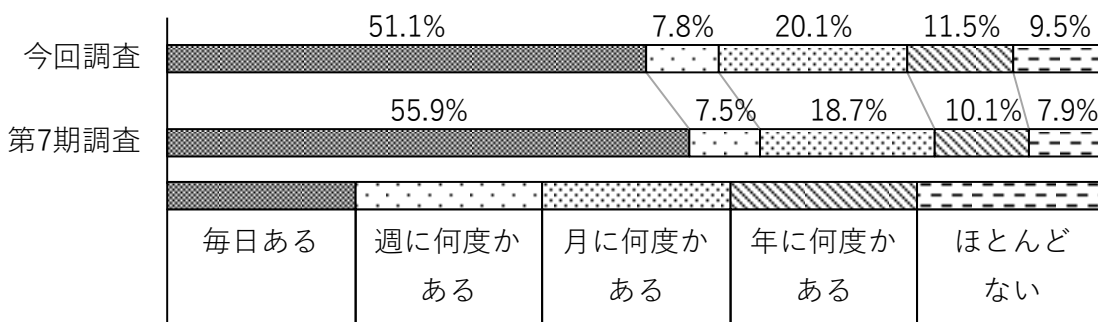


(5) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○はひとつ)

【N=1,471、1,515(第7期調査)】

だれかと食事をとにもする機会については、「毎日ある」が51.1%、「週に何度かある」が7.8%、「月に何度かある」が20.1%、「年に何度かある」が11.5%となっており、『ある』人は合わせて約9割(90.5%)を占めています。一方、「ほとんどない」と回答した孤食状態にある人は9.5%となっています。

第7期調査と比較すると、「ほとんどない」と回答した孤食状態にある人が1.6ポイント上昇しています。

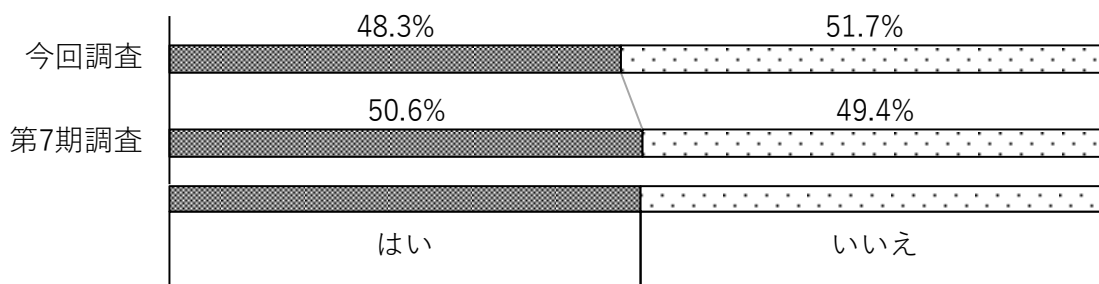


問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ) 【N=1,459、1,515(第7期調査)】

物忘れについて、「物忘れが多いと感じますか」に「はい」と回答した人は48.3%となっており、約半数の人が「物忘れ」に心当たりがあることがうかがえます。

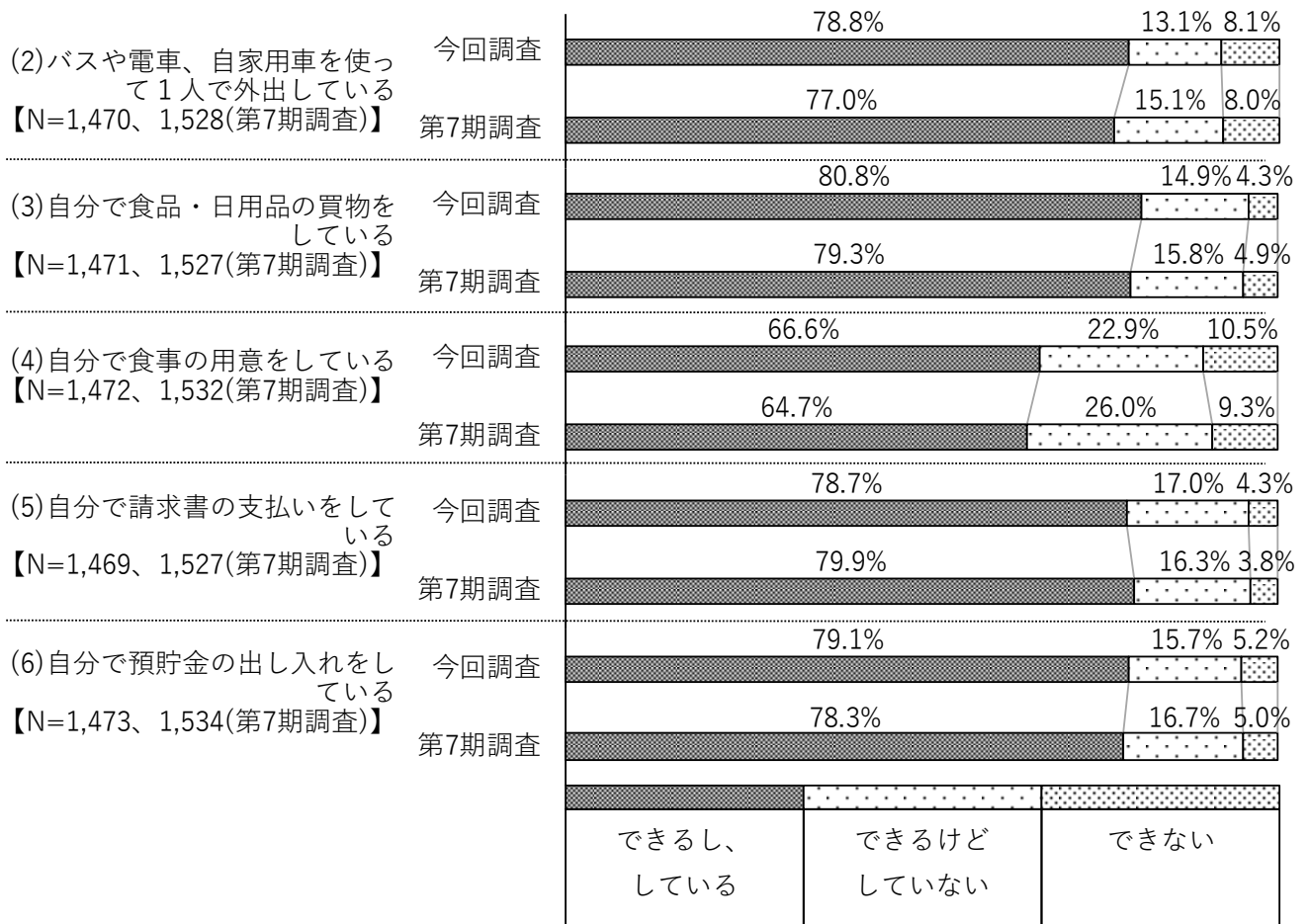
第7期調査と比較すると、「いいえ」が2.3ポイント上昇しています。



- (2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(○はひとつ)
 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)
 (4) 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)
 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)
 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

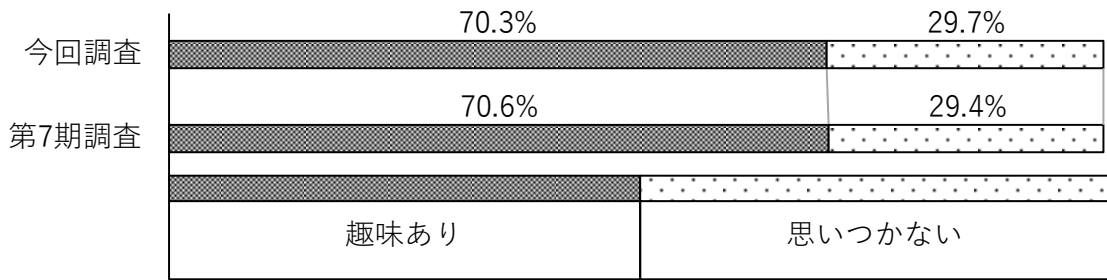
「(2)バスや電車を使って1人で外出している(自家用車でも可)」、「(3)自分で食品・日用品の買物をしている」、「(5)自分で請求書の支払いをしている」、「(6)自分で預貯金の出し入れをしている」について、「できるし、している」、「できるけどしていない」と回答した人は、合わせてそれぞれ90%を超えており、外出や買物、金銭の管理などについては大多数の人に支障がないことがうかがえます。一方、「(4)自分で食事の用意をしている」については「できない」と回答した人が10.5%あります。

第7期調査と比較すると、「(5)自分で請求書の支払いをしている」については、「できるし、している」が1.2ポイント低下しています。また、「(4)自分で食事の用意をしている」については、「できない」が1.2ポイント上昇しています。



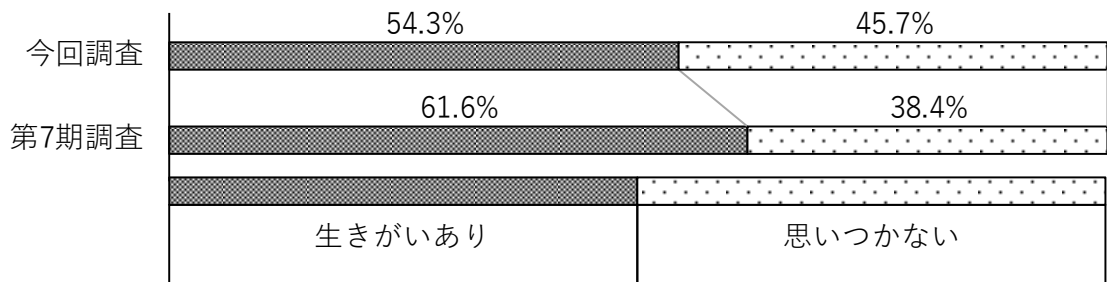
(7) 趣味はありますか。(○はひとつ) 【N=1,440、1,494(第7期調査)】

趣味が「ある」人は70.3%、趣味が「思いつかない」人は29.7%となっています。



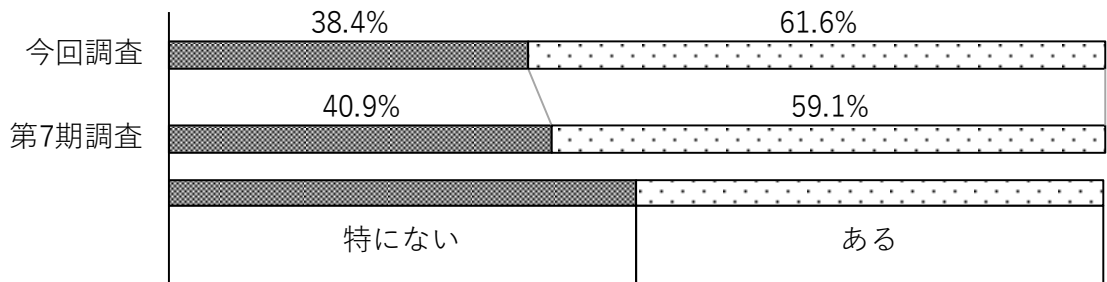
(8) 生きがいがありますか。(○はひとつ) 【N=1,304、1,481(第7期調査)】

生きがいが「ある」人は54.3%、生きがいが「思いつかない」人は45.7%となっています。
第7期調査と比較すると、生きがいが「思いつかない」人が7.3ポイント上昇しています。



(9) あなたは、現在、日常生活の中で不安に思っていることがありますか。(○はひとつ) 【N=1,358、1,476(第7期調査)】

現在、日常生活の中で不安に思っていることが「ある」人は61.6%に上ります。一方、「特にない」人は38.4%となっており、不安を抱えている人が23.2ポイント上回っています。
第7期調査と比較すると、不安を抱えている人が2.5ポイント上昇しています。



世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、『1人暮らし』では不安に思っていることが「ある」人は72.4%に上っています。

	合計	特 に ない	あ る
全体	1324	38.4	61.6
1人暮らし	225	27.6	72.4
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	583	39.8	60.2
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	49	40.8	59.2
息子・娘との 2世帯	245	42.0	58.0
その他	99	39.4	60.6
その他(2世代)	123	42.3	57.7

認定状況別クロス

認定状況別にみると、不安に思っていることが「ある」人は『事業対象者』では100.0%、『要支援2』では96.2%となっています。

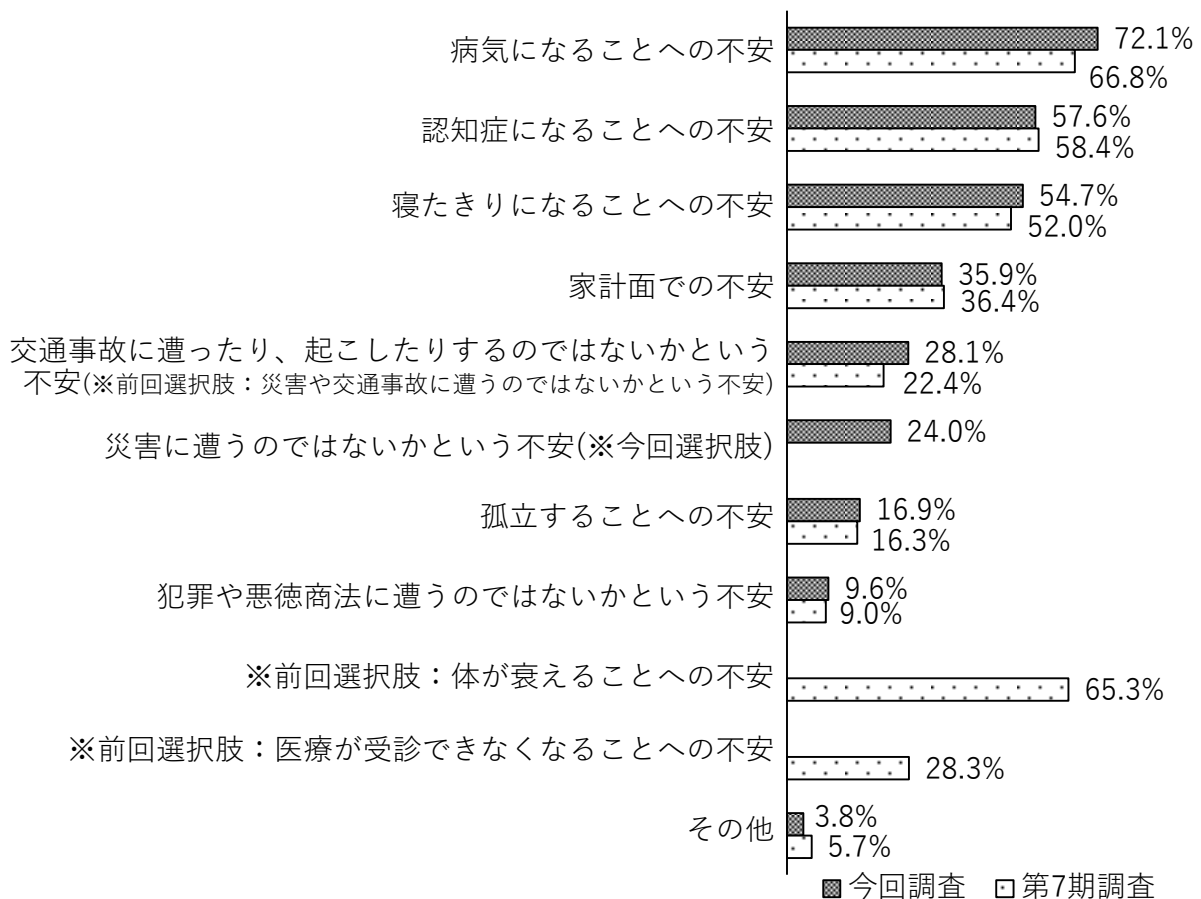
	合計	特 に ない	あ る
全体	1312	38.6	61.4
要支援1	65	23.1	76.9
要支援2	26	3.8	96.2
事業対象者	6	-	100.0
受けていない	1195	40.6	59.4
わからない	20	25.0	75.0

【(9)で「2.ある」を選んだ人に伺います。】

(9)-① どのようなことが不安ですか。(当てはまるものすべてに○)

【N=835、870(第7期調査)】

どのようなことが不安なのかについては、「病気になることへの不安」が72.1%で最も高く、次いで、「認知症になることへの不安」(57.6%)、「寝たきりになることへの不安」(54.7%)と続き、身体の衰えに不安を持っている人が多いことがうかがえます。



世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、全体結果の上位3位まで（「病気になることへの不安」、「認知症になることへの不安」、「寝たきりになることへの不安」）については、順位の違いはあれ、いずれの世帯状況においても上位を占めています。

『その他(2世代)』と『その他』では、「家計面での不安」がそれぞれ53.5%、51.7%と、他の世帯状況に比べて特に高くなっています。

	合計	寝たきりになることへの不安	認知症になることへの不安	病気になることへの不安	孤立することへの不安	家計面での不安	災害に遭うのではないかと不安	交通事故に遭ったり、起こしたりするのではないかと不安	犯罪や悪徳商法に遭うのではないかと不安	その他
全体	815	54.8	58.0	72.5	17.3	35.6	24.4	28.3	9.8	3.9
1人暮らし	163	60.7	58.3	70.6	20.9	36.2	27.6	20.9	10.4	3.7
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	351	52.4	56.1	75.5	20.5	31.3	26.8	29.9	12.3	3.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	29	58.6	62.1	62.1	27.6	41.4	10.3	27.6	6.9	6.9
息子・娘との 2世帯	141	61.7	65.2	75.2	7.1	28.4	19.9	33.3	4.3	5.0
その他	60	41.7	48.3	65.0	16.7	51.7	18.3	26.7	5.0	3.3
その他(2世代)	71	49.3	59.2	67.6	9.9	53.5	25.4	29.6	12.7	2.8

認定状況別クロス

認定状況別にみると、『要支援1』では「寝たきりになることへの不安」が、その他の認定状況では「病気になることへの不安」が、それぞれ最も高くなっています。

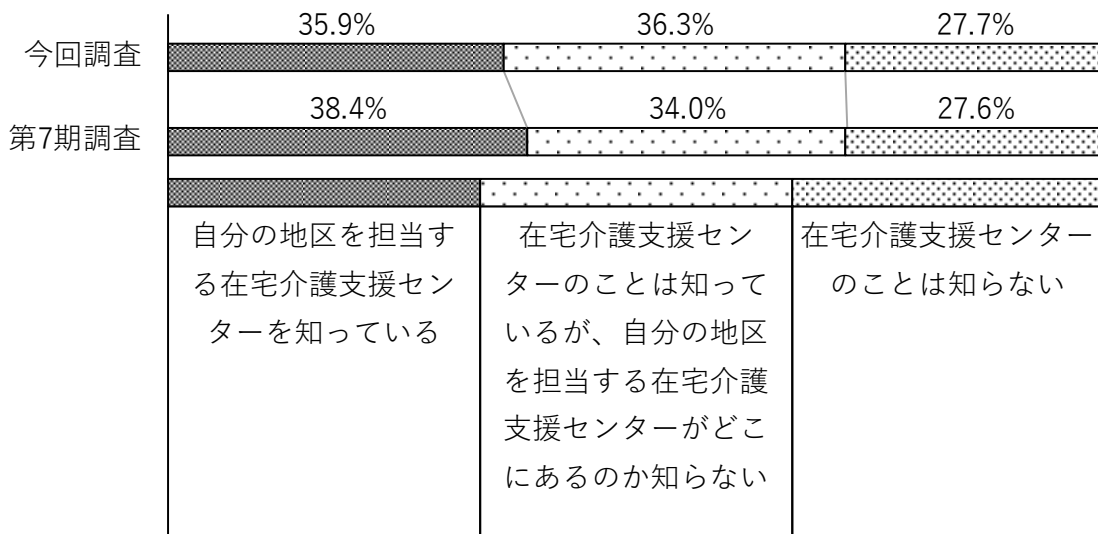
	合計	寝たきりになることへの不安	認知症になることへの不安	病気になることへの不安	孤立することへの不安	家計面での不安	災害に遭うのではないかと不安	交通事故に遭ったり、起こしたりするのではないかと不安	犯罪や悪徳商法に遭うのではないかと不安	その他
全体	805	54.7	58.1	72.4	16.9	35.8	24.7	28.3	9.9	3.9
要支援1	50	78.0	66.0	70.0	28.0	30.0	28.0	14.0	8.0	-
要支援2	25	56.0	48.0	64.0	12.0	24.0	32.0	12.0	16.0	-
事業対象者	6	50.0	33.3	83.3	-	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
受けていない	709	52.5	57.8	72.5	15.9	36.7	24.3	29.9	10.0	4.1
わからない	15	80.0	73.3	86.7	40.0	40.0	26.7	26.7	-	6.7

(10) あなたは、在宅介護支援センターを知っていますか。(○はひとつ)

【N=1,355、1,455(第7期調査)】

在宅介護支援センターについて、「自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」は 35.9%、「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」は36.3%、「在宅介護支援センターのことは知らない」は 27.7%となっています。

第7期調査と比較すると、「自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」が2.5ポイント低下する一方、「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」は2.3ポイント上昇しています。



認定状況別クロス

認定状況別にみると、『要支援1』と『要支援2』、『事業対象者』では「自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」が最も高くなっています。一方、『受けていない』では「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」が最も高くなっています。また、『わからない』では「自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」と「在宅介護支援センターのことは知らない」が同率となっています。

	合計	自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている	在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない	在宅介護支援センターのことは知らない
全体	1312	35.6	36.5	27.9
要支援1	63	49.2	38.1	12.7
要支援2	26	65.4	15.4	19.2
事業対象者	7	57.1	28.6	14.3
受けていない	1196	34.1	37.0	28.8
わからない	20	35.0	30.0	35.0

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、「自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」が高い地区は、『富洲原』『川島』『河原田』『水沢』『保々』となっており、いずれも50%以上となっています。特に、『水沢』では71.4%に上っています。一方、「在宅介護支援センターのことは知らない」が高い地区は、『羽津』と『小山田』がいずれも40%を超えています。在宅介護支援センターの所在する施設は知っていても、そこに在宅介護支援センターがあると知らなかったり、在宅介護支援センターという機能そのものを知らない人が多いことがうかがえます。

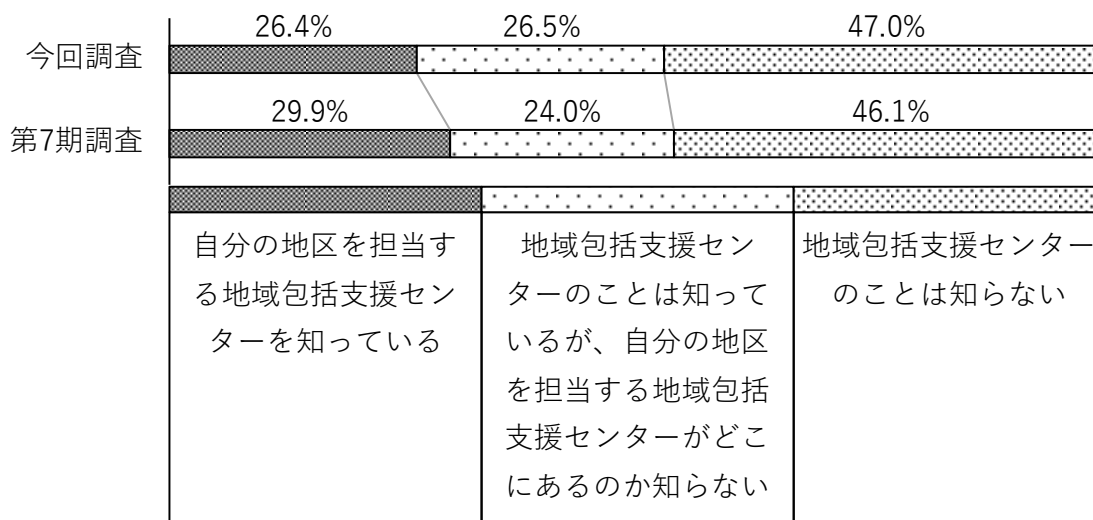
	合計	自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている	どこにあるのか知らない	在宅介護支援センターのことは知らない
全体	1326	35.7	36.4	27.9
中部	110	33.6	41.8	24.5
富洲原	42	50.0	38.1	11.9
富田	62	43.5	30.6	25.8
羽津	61	24.6	32.8	42.6
常磐	88	25.0	37.5	37.5
日永	57	19.3	47.4	33.3
四郷	108	45.4	32.4	22.2
内部	64	34.4	45.3	20.3
塩浜	38	31.6	36.8	31.6
小山田	20	30.0	20.0	50.0
川島	61	55.7	27.9	16.4
神前	45	40.0	31.1	28.9
桜	71	32.4	38.0	29.6
三重	121	19.0	43.8	37.2
県	32	34.4	34.4	31.3
八郷	71	38.0	31.0	31.0
下野	36	47.2	33.3	19.4
大矢知	63	33.3	46.0	20.6
河原田	14	57.1	28.6	14.3
水沢	21	71.4	23.8	4.8
保々	25	56.0	16.0	28.0
海蔵	45	31.1	40.0	28.9
橋北	25	36.0	36.0	28.0
楠	44	36.4	31.8	31.8
わからない	2	50.0	50.0	-

(11) あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(○はひとつ)

【N=1,369、1,478(第7期調査)】

地域包括支援センターについて、「自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」は26.4%、「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあるのか知らない」は26.5%、「地域包括支援センターのことは知らない」は47.0%となっています。

第7期調査と比較すると、「自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」が3.5ポイント低下する一方、「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあるのか知らない」は2.5ポイント上昇しています。



認定状況別クロス

認定状況別にみると、『要支援1』と『要支援2』では「自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」が過半数(52.4%、59.3%)を占めています。一方、『事業対象者』では「自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」と「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあるのか知らない」が同率(42.9%)となっています。『受けていない』と『わからない』では「地域包括支援センターのことは知らない」が最も高くなっています。

	合計	自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている	援が、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあるのか知らない	地域包括支援センターのことは知らない
全体	1324	26.2	26.6	47.2
要支援1	63	52.4	23.8	23.8
要支援2	27	59.3	18.5	22.2
事業対象者	7	42.9	42.9	14.3
受けていない	1207	24.0	26.9	49.0
わからない	20	25.0	20.0	55.0

ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの日常生活圏域でも「地域包括支援センターのことは知らない」が最も高くなっています。

	合計	自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている	援が、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあるのか知らない	地域包括支援センターのことは知らない
全体	1340	26.2	26.7	47.1
北ブロック	408	26.2	27.7	46.1
中ブロック	469	24.9	27.1	48.0
南ブロック	461	27.3	25.6	47.1

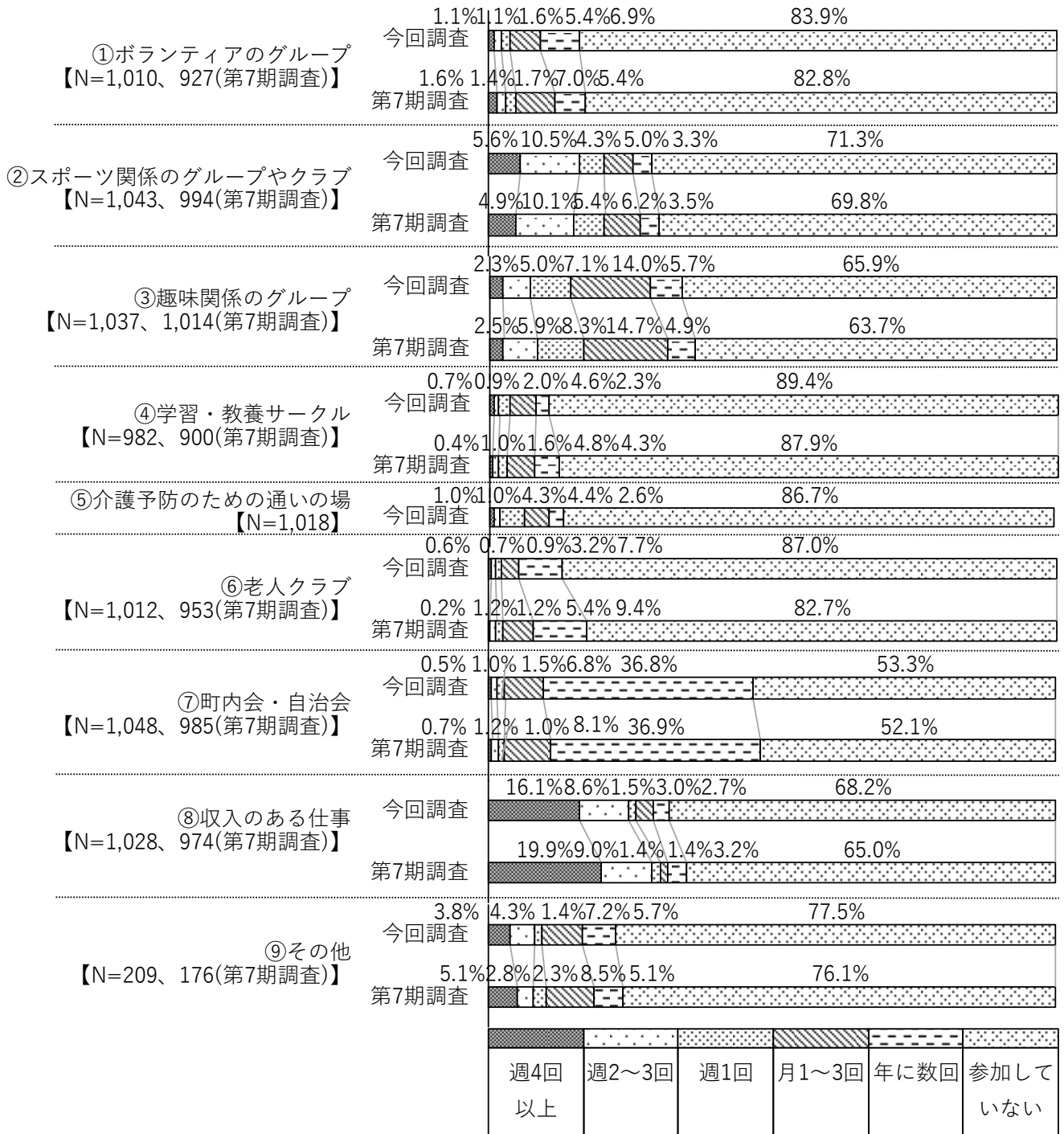
問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ活動等にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇はひとつずつ)

会・グループ活動等への参加については、「⑦町内会・自治会」へ『参加している』は合わせて46.6%と、約半数を占めています。また、「③趣味関係のグループ」や「⑧収入のある仕事」への参加も比較的多く、『参加している』は約30%あります。一方、その他の会・グループ活動等では「参加していない」と回答した人が70%を超えており、特に、「①ボランティアのグループ」や「④学習・教養サークル」、「⑤介護予防のための通いの場」、「⑥老人クラブ」では80%を超えています。

第7期調査と比較すると、いずれの会・グループ活動等への参加についても、『参加している』が1～4ポイント低下しています。一方、「参加していない」はいずれも上昇しています。

	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
①ボランティアのグループ【N=1,010】	1.1	1.1	1.6	5.4	6.9	83.9
②スポーツ関係のグループやクラブ【N=1,043】	5.6	10.5	4.3	5.0	3.3	71.3
③趣味関係のグループ【N=1,037】	2.3	5.0	7.1	14.0	5.7	65.9
④学習・教養サークル【N=982】	0.7	0.9	2.0	4.6	2.3	89.4
⑤「ふれあいいきいきサロン」「いきいき百歳体操」など、介護予防のための通いの場【N=1,018】	1.0	1.0	4.3	4.4	2.6	86.7
⑥老人クラブ【N=1,012】	0.6	0.7	0.9	3.2	7.7	87.0
⑦町内会・自治会【N=1,048】	0.5	1.0	1.5	6.8	36.8	53.3
⑧収入のある仕事【N=1,028】	16.1	8.6	1.5	3.0	2.7	68.2
⑨その他【N=209】	3.8	4.3	1.4	7.2	5.7	77.5



⑧収入のある仕事

性・年齢別クロス

「⑧収入のある仕事」について性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも「参加していない」が最も高くなっています。

『参加している』は、『65～74歳男』が49.1%、『65～74歳女』が37.1%と、他の性・年齢に比べて高くなっています。

		合計	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
65～74歳	計	572	22.9	11.9	1.6	4.0	2.4	57.2
	男	273	28.2	13.6	0.7	3.7	2.9	50.9
	女	299	18.1	10.4	2.3	4.3	2.0	62.9
75～84歳	計	316	6.3	2.5	0.6	1.6	3.8	85.1
	男	161	8.1	2.5	1.2	2.5	6.2	79.5
	女	155	4.5	2.6	-	0.6	1.3	91.0
85歳以上	計	42	-	4.8	-	2.4	2.4	90.5
	男	19	-	5.3	-	5.3	5.3	84.2
	女	23	-	4.3	-	-	-	95.7

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「週4回以上」が25.0%あり、『参加している』は52.2%に上ります。他の世帯状況では、いずれも「参加していない」が60%を超えて高くなっています。

	合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体	1006	16.2	8.6	1.2	3.0	2.8	68.2
1人暮らし	159	12.6	7.5	1.3	2.5	2.5	73.6
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	447	17.0	6.9	1.3	3.1	1.8	69.8
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	44	25.0	22.7	-	-	4.5	47.7
息子・娘との 2世帯	183	11.5	9.3	0.5	4.4	3.8	70.5
その他	82	20.7	11.0	1.2	3.7	2.4	61.0
その他(2世代)	91	19.8	8.8	2.2	1.1	5.5	62.6

認定状況別クロス

認定状況別にみると「参加していない」は『要支援2』では100.0%、『要支援1』では91.9%に上ります。一方、『受けていない』では『参加している』が32.9%、『わからない』では46.7%となっています。

	合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体	997	16.2	8.4	1.2	3.0	2.8	68.3
要支援1	37	-	-	-	2.7	5.4	91.9
要支援2	14	-	-	-	-	-	100.0
事業対象者	4	-	25.0	-	-	-	75.0
受けていない	927	17.2	8.6	1.3	3.0	2.8	67.1
わからない	15	20.0	20.0	-	6.7	-	53.3

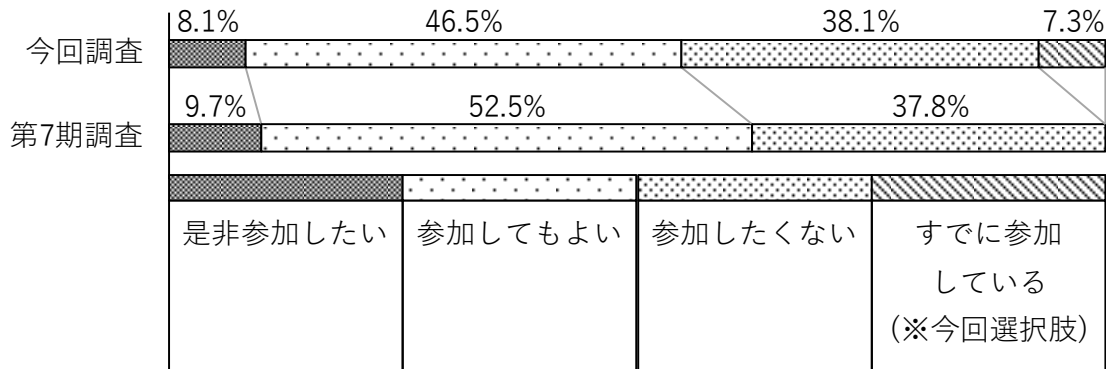
日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『参加している』は『神前』では43.7%と高くなっています。その他の地区では「参加していない」が最も高くなっています。

	合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体	1004	16.1	8.7	1.2	3.0	2.8	68.2
中部	79	19.0	10.1	1.3	1.3	5.1	63.3
富洲原	33	21.2	3.0	-	-	-	75.8
富田	41	17.1	4.9	2.4	4.9	-	70.7
羽津	51	13.7	5.9	2.0	3.9	2.0	72.5
常磐	66	19.7	12.1	1.5	3.0	3.0	60.6
日永	52	11.5	3.8	-	1.9	1.9	80.8
四郷	71	15.5	12.7	1.4	2.8	-	67.6
内部	50	24.0	6.0	-	6.0	-	64.0
塩浜	24	20.8	8.3	-	4.2	4.2	62.5
小山田	16	12.5	25.0	-	-	-	62.5
川島	45	15.6	13.3	-	2.2	2.2	66.7
神前	39	20.5	15.4	2.6	2.6	2.6	56.4
桜	56	12.5	10.7	3.6	3.6	3.6	66.1
三重	91	17.6	5.5	-	5.5	2.2	69.2
県	25	12.0	8.0	-	4.0	4.0	72.0
八郷	59	13.6	6.8	3.4	3.4	1.7	71.2
下野	26	19.2	-	-	3.8	3.8	73.1
大矢知	55	14.5	9.1	1.8	3.6	3.6	67.3
河原田	10	20.0	-	-	10.0	-	70.0
水沢	11	9.1	-	9.1	-	18.2	63.6
保々	20	10.0	15.0	-	-	-	75.0
海蔵	33	12.1	12.1	-	-	6.1	69.7
橋北	16	6.3	6.3	-	-	12.5	75.0
楠	33	12.1	9.1	-	-	6.1	72.7
わからない	2	50.0	-	-	-	-	50.0

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ) 【N=1,368、1,478(第7期調査)】

健康づくり活動や趣味等のグループ活動による地域づくりに「是非参加したい」は8.1%、「参加してもよい」は46.5%と、合わせて54.6%の人に参加の意思があります。一方、「参加したくない」は38.1%、「すでに参加している」は7.3%となっています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、参加意思のある人は65歳以上85歳未満の男女では過半数を占めており、特に、『75～84歳男』では70.4%に上っています。

		合計	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	すでに参加している
65～74歳	計	671	5.2	51.4	37.6	5.8
	男	317	4.4	51.1	41.0	3.5
	女	354	5.9	51.7	34.5	7.9
75～84歳	計	478	11.5	44.4	35.1	9.0
	男	229	7.0	45.4	39.3	8.3
	女	249	15.7	43.4	31.3	9.6
85歳以上	計	88	10.2	30.7	50.0	9.1
	男	37	5.4	32.4	56.8	5.4
	女	51	13.7	29.4	45.1	11.8

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、参加意思のある人はいずれの世帯状況でも50%以上となっており、特に、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では63.0%と高くなっています。

	合計	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	いすでに参加して
全体	1336	8.2	46.4	38.0	7.4
1人暮らし	222	11.7	38.3	43.2	6.8
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	585	6.7	49.7	36.4	7.2
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	54	7.4	55.6	33.3	3.7
息子・娘との 2世帯	242	7.9	42.6	39.7	9.9
その他	103	11.7	42.7	37.9	7.8
その他(2世代)	130	6.9	51.5	35.4	6.2

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、「参加したくない」は『羽津』と『下野』ではそれぞれ52.5%、52.8%と過半数を占めていますが、その他の居住地区ではいずれも参加意思のある人が50%以上を占めています。また、「すでに参加している」は『塩浜』『神前』『三重』『大矢知』『川原田』『保々』で10%を超えています。

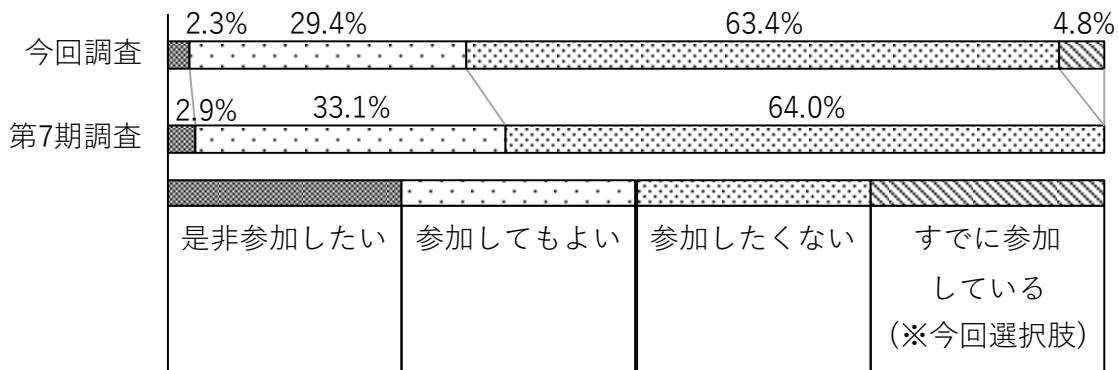
	合計	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	いすでに参加して
全 体	1338	8.1	46.3	38.2	7.4
中 部	110	11.8	50.0	31.8	6.4
富洲原	40	5.0	57.5	37.5	-
富 田	62	6.5	46.8	38.7	8.1
羽 津	61	1.6	41.0	52.5	4.9
常 磐	90	6.7	45.6	43.3	4.4
日 永	57	8.8	47.4	40.4	3.5
四 郷	106	8.5	42.5	39.6	9.4
内 部	68	10.3	50.0	32.4	7.4
塩 浜	37	13.5	29.7	43.2	13.5
小山田	19	15.8	47.4	31.6	5.3
川 島	60	13.3	36.7	43.3	6.7
神 前	44	4.5	43.2	38.6	13.6
桜	72	6.9	55.6	31.9	5.6
三 重	122	5.7	46.7	36.1	11.5
県	32	9.4	43.8	43.8	3.1
八 郷	72	8.3	47.2	40.3	4.2
下 野	36	2.8	38.9	52.8	5.6
大矢知	68	13.2	41.2	32.4	13.2
河原田	15	6.7	60.0	20.0	13.3
水 沢	23	17.4	47.8	30.4	4.3
保 々	26	7.7	42.3	38.5	11.5
海 蔵	46	4.3	50.0	37.0	8.7
橋 北	25	4.0	56.0	36.0	4.0
楠	45	6.7	51.1	35.6	6.7
わからない	2	-	50.0	50.0	-

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

【N=1,364、1,473(第7期調査)】

健康づくり活動や趣味等のグループ活動により地域づくりを進める際、企画・運営として「是非参加したい」が2.3%、「参加してもよい」は29.4%と、合わせて31.7%の人に参加の意思があります。

一方、「参加したくない」は63.4%、「すでに参加している」は4.8%となっています。



日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、参加意思のある人は、『中部』『富田』『水沢』ではそれぞれ41.1%、45.9%、40.0%と、他の地区に比べて高くなっています。また、「すでに参加している」は『日永』『内部』『小山田』『橋北』では10%程度あります。

	合計	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	いすでに参加して
全 体	1334	2.2	29.0	63.8	4.9
中 部	112	5.4	35.7	57.1	1.8
富洲原	38	-	21.1	76.3	2.6
富 田	61	1.6	44.3	50.8	3.3
羽 津	61	-	21.3	77.0	1.6
常 磐	89	1.1	33.7	61.8	3.4
日 永	57	-	28.1	61.4	10.5
四 郷	108	3.7	32.4	59.3	4.6
内 部	68	2.9	29.4	57.4	10.3
塩 浜	38	5.3	18.4	68.4	7.9
小山田	20	-	30.0	60.0	10.0
川 島	60	-	26.7	71.7	1.7
神 前	45	-	28.9	62.2	8.9
桜	70	-	31.4	64.3	4.3
三 重	122	3.3	24.6	68.0	4.1
県	32	3.1	28.1	65.6	3.1
八 郷	71	2.8	32.4	63.4	1.4
下 野	36	-	22.2	72.2	5.6
大矢知	68	5.9	23.5	61.8	8.8
河原田	15	6.7	20.0	73.3	-
水 沢	20	-	40.0	55.0	5.0
保 々	26	3.8	30.8	61.5	3.8
海 蔵	46	-	21.7	71.7	6.5
橋 北	25	4.0	28.0	56.0	12.0
楠	44	-	25.0	68.2	6.8
わからない	2	-	50.0	50.0	-

問6 たすけあいについて

- (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)
- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

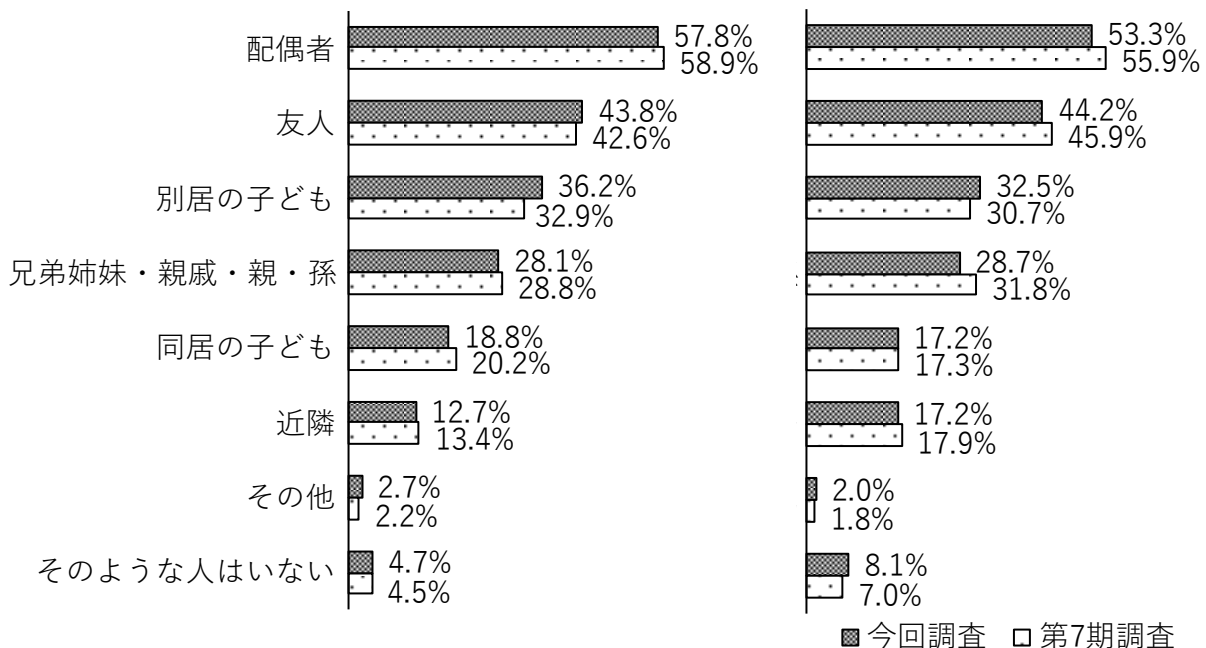
「(1)あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人」と「(2)反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人」については、「配偶者」(57.8%、53.3%)が最も高く、次いで、「友人」(43.8%、44.2%)が続いています。

「(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」と「(4)反対に、看病や世話をしてあげる人」は、「配偶者」(64.1%、65.8%)が最も高く、次いで、「別居の子ども」(34.3%、26.9%)が続いています。

第7期調査と比較すると、いずれの状況においても「別居の子ども」が2~3ポイント前後上昇しています。一方、「(2)反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人」、「(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」、「(4)反対に、看病や世話をしてあげる人」では「そのような人はいない」が1~2ポイント上昇しています。

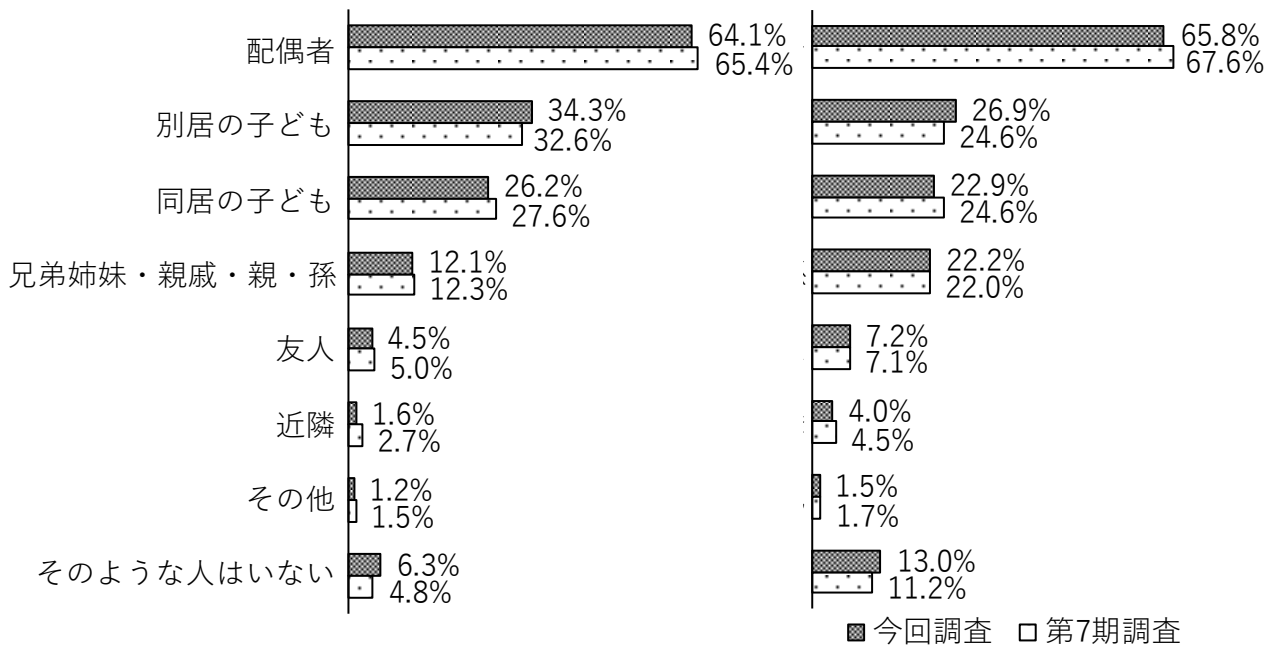
(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
【N=1,461、1,502(第7期調査)】

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いて
あげる人 【N=1,451、1,479(第7期調査)】



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、
看病や世話をしてくれる人
【N=1,456、1,506(第7期調査)】

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人
【N=1,422、1,456(第7期調査)】



	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない	そのような人はいない
(1)心配事や愚痴を聞いてくれる人 【N=1,461】	57.8	18.8	36.2	28.1	12.7	43.8	2.7	4.7	
(2)心配事や愚痴を聞いてあげる人 【N=1,451】	53.3	17.2	32.5	28.7	17.2	44.2	2.0	8.1	
(3)病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 【N=1,456】	64.1	26.2	34.3	12.1	1.6	4.5	1.2	6.3	
(4)看病や世話をしてくれる人 【N=1,422】	65.8	22.9	26.9	22.2	4.0	7.2	1.5	13.0	

日常生活圏域別クロス

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

日常生活圏域別にみると、『塩浜』と『水沢』では「配偶者」と「友人」が同率となっていますが、その他の地区では全体結果と同様に「配偶者」が最も高くなっています。一方、「そのような人はいない」は『小山田』で9.5%と他の地区に比べて高くなっています。

	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫・親	近隣	友人	その他	そのような人は いない
全 体	1425	58.0	18.9	36.1	28.2	12.7	43.9	2.7	4.7
中 部	124	50.8	20.2	31.5	25.0	9.7	41.1	4.0	4.0
富洲原	42	64.3	21.4	40.5	38.1	14.3	42.9	2.4	7.1
富 田	65	52.3	3.1	36.9	26.2	7.7	41.5	-	7.7
羽 津	68	64.7	22.1	41.2	32.4	7.4	44.1	1.5	2.9
常 磐	92	56.5	15.2	40.2	30.4	5.4	46.7	4.3	8.7
日 永	59	62.7	22.0	35.6	39.0	11.9	45.8	3.4	1.7
四 郷	111	60.4	15.3	38.7	27.0	16.2	52.3	2.7	6.3
内 部	72	63.9	18.1	26.4	29.2	15.3	47.2	1.4	6.9
塩 浜	43	46.5	20.9	44.2	32.6	11.6	46.5	-	4.7
小山田	21	71.4	14.3	47.6	23.8	4.8	19.0	-	9.5
川 島	60	63.3	13.3	43.3	25.0	10.0	51.7	3.3	5.0
神 前	45	64.4	22.2	31.1	24.4	6.7	37.8	2.2	8.9
桜	77	66.2	22.1	37.7	24.7	13.0	48.1	-	1.3
三 重	139	53.2	15.1	29.5	26.6	13.7	35.3	4.3	5.0
県	35	68.6	14.3	31.4	34.3	17.1	51.4	-	5.7
八 郷	75	66.7	21.3	34.7	25.3	14.7	41.3	6.7	1.3
下 野	38	57.9	18.4	44.7	36.8	13.2	47.4	2.6	5.3
大矢知	70	50.0	25.7	32.9	31.4	15.7	44.3	4.3	5.7
河原田	16	68.8	18.8	25.0	25.0	25.0	62.5	-	-
水 沢	23	43.5	21.7	34.8	21.7	17.4	43.5	-	-
保 々	26	46.2	34.6	50.0	26.9	30.8	30.8	3.8	-
海 蔵	47	55.3	17.0	44.7	27.7	21.3	53.2	2.1	4.3
橋 北	28	53.6	32.1	32.1	17.9	25.0	39.3	3.6	-
楠	47	48.9	27.7	34.0	25.5	4.3	36.2	2.1	2.1
わからない	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

日常生活圏域別にみると、『富田』と『楠』では「友人」が、『四郷』『川原田』『水沢』『保々』では「配偶者」と「友人」が同率で、それ以外の地区では全体結果と同様に「配偶者」が最も高くなっています。一方、「そのような人はいない」は『塩浜』で14.0%と他の地区に比べて高くなっています。

	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫・親	近隣	友人	その他	いそのような人は
全 体	1415	53.4	17.5	32.4	28.8	17.2	44.1	2.0	8.1
中 部	124	50.8	16.1	31.5	25.0	11.3	40.3	2.4	7.3
富洲原	42	57.1	14.3	31.0	31.0	11.9	35.7	-	11.9
富 田	64	42.2	6.3	34.4	29.7	7.8	48.4	3.1	7.8
羽 津	68	57.4	19.1	35.3	36.8	10.3	44.1	1.5	4.4
常 磐	91	50.5	17.6	39.6	25.3	8.8	47.3	2.2	12.1
日 永	60	55.0	15.0	30.0	40.0	15.0	43.3	3.3	6.7
四 郷	110	50.0	14.5	38.2	27.3	25.5	50.0	2.7	9.1
内 部	70	57.1	15.7	24.3	32.9	17.1	52.9	2.9	5.7
塩 浜	43	48.8	16.3	25.6	32.6	18.6	39.5	-	14.0
小山田	22	72.7	22.7	36.4	22.7	9.1	22.7	-	13.6
川 島	60	55.0	15.0	31.7	28.3	18.3	50.0	-	10.0
神 前	43	58.1	18.6	39.5	25.6	11.6	39.5	4.7	11.6
桜	76	65.8	22.4	31.6	28.9	21.1	47.4	-	5.3
三 重	138	51.4	17.4	26.8	26.8	15.9	37.0	1.4	8.7
県	35	68.6	22.9	20.0	31.4	22.9	48.6	2.9	5.7
八 郷	75	58.7	20.0	33.3	28.0	22.7	41.3	4.0	4.0
下 野	39	61.5	15.4	41.0	35.9	25.6	46.2	2.6	2.6
大矢知	69	50.7	20.3	31.9	36.2	23.2	46.4	4.3	11.6
河原田	16	56.3	18.8	25.0	25.0	31.3	56.3	-	6.3
水 沢	23	39.1	21.7	34.8	26.1	21.7	39.1	-	4.3
保 々	25	44.0	28.0	48.0	28.0	20.0	44.0	-	8.0
海 蔵	47	53.2	14.9	34.0	27.7	21.3	48.9	4.3	10.6
橋 北	28	46.4	25.0	35.7	10.7	32.1	39.3	-	-
楠	45	37.8	22.2	22.2	22.2	15.6	42.2	-	11.1
わからない	2	100.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

日常生活圏域別にみると、全体結果と同様にいずれの居住地区でも「配偶者」が最も高くなっています。一方、「そのような人はいない」は『四郷』『三重』『橋北』では11%前後あり、他の地区に比べて高くなっています。

	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚・兄弟・姉妹・孫・親	近隣	友人	その他	いそのような人はいない
全 体	1422	64.4	26.2	34.2	12.0	1.6	4.4	1.3	6.2
中 部	120	56.7	24.2	30.0	11.7	0.8	5.0	0.8	6.7
富洲原	42	73.8	28.6	35.7	7.1	4.8	4.8	2.4	4.8
富 田	66	54.5	24.2	36.4	12.1	1.5	6.1	1.5	6.1
羽 津	68	67.6	23.5	36.8	11.8	1.5	4.4	1.5	2.9
常 磐	92	63.0	27.2	38.0	8.7	1.1	2.2	1.1	6.5
日 永	60	65.0	21.7	36.7	18.3	3.3	5.0	-	6.7
四 郷	109	62.4	23.9	44.0	16.5	0.9	4.6	1.8	11.0
内 部	72	72.2	25.0	31.9	16.7	4.2	5.6	-	2.8
塩 浜	43	53.5	27.9	37.2	23.3	-	4.7	-	7.0
小山田	21	81.0	19.0	23.8	19.0	-	4.8	4.8	-
川 島	60	71.7	18.3	38.3	11.7	-	8.3	3.3	3.3
神 前	45	80.0	26.7	22.2	15.6	-	4.4	-	2.2
桜	77	76.6	23.4	36.4	11.7	2.6	7.8	1.3	1.3
三 重	138	58.7	23.9	29.7	11.6	2.2	4.3	0.7	10.9
県	35	71.4	28.6	25.7	11.4	-	2.9	2.9	8.6
八 郷	76	75.0	28.9	25.0	3.9	-	1.3	1.3	6.6
下 野	40	67.5	30.0	50.0	15.0	-	7.5	-	2.5
大矢知	71	56.3	31.0	32.4	8.5	-	1.4	2.8	7.0
河原田	16	62.5	18.8	43.8	6.3	-	6.3	-	6.3
水 沢	23	56.5	39.1	26.1	8.7	8.7	-	4.3	4.3
保 々	25	52.0	44.0	32.0	8.0	-	-	-	4.0
海 蔵	47	61.7	29.8	42.6	6.4	2.1	6.4	2.1	6.4
橋 北	27	51.9	44.4	33.3	14.8	7.4	3.7	-	11.1
楠	47	61.7	25.5	31.9	8.5	2.1	-	-	6.4
わからない	2	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-

(4) 反対に、看病や世話をしあがる人

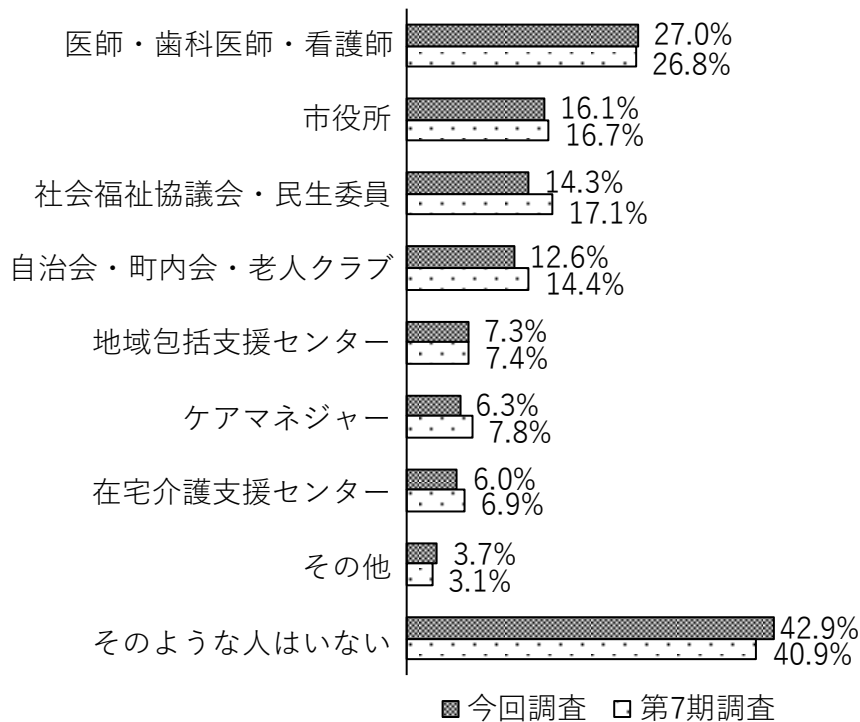
日常生活圏域別にみると、全体結果と同様にいずれの居住地区でも「配偶者」が最も高くなっています。一方、「そのような人はいない」は『富洲原』『水沢』『保々』では20%を超えており、他の地区に比べて高くなっています。

	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫・親	近隣	友人	その他	いそのような人は
全体	1388	66.0	22.8	26.7	22.3	4.0	7.2	1.6	13.0
中部	118	56.8	23.7	21.2	18.6	3.4	5.9	3.4	14.4
富洲原	41	63.4	14.6	26.8	19.5	7.3	12.2	-	22.0
富田	62	54.8	19.4	27.4	27.4	-	6.5	1.6	12.9
羽津	65	72.3	20.0	27.7	24.6	-	4.6	-	9.2
常磐	91	59.3	19.8	29.7	22.0	5.5	4.4	2.2	19.8
日永	60	68.3	18.3	28.3	20.0	5.0	3.3	1.7	13.3
四郷	109	65.1	19.3	31.2	28.4	5.5	8.3	4.6	14.7
内部	69	71.0	21.7	20.3	29.0	4.3	10.1	2.9	8.7
塩浜	42	54.8	23.8	19.0	28.6	4.8	11.9	-	19.0
小山田	21	85.7	19.0	14.3	14.3	-	4.8	-	9.5
川島	59	71.2	16.9	32.2	18.6	3.4	6.8	-	11.9
神前	43	74.4	27.9	32.6	18.6	4.7	9.3	2.3	7.0
桜	72	79.2	20.8	30.6	27.8	5.6	13.9	-	9.7
三重	137	60.6	25.5	22.6	20.4	3.6	6.6	1.5	12.4
県	34	76.5	20.6	20.6	14.7	-	2.9	5.9	14.7
八郷	73	78.1	31.5	26.0	16.4	1.4	4.1	-	2.7
下野	39	74.4	25.6	41.0	23.1	7.7	10.3	-	7.7
大矢知	68	63.2	26.5	33.8	26.5	2.9	8.8	1.5	14.7
河原田	16	75.0	12.5	25.0	18.8	6.3	18.8	-	6.3
水沢	23	60.9	21.7	21.7	26.1	4.3	4.3	-	21.7
保々	24	50.0	33.3	37.5	25.0	4.2	-	-	20.8
海蔵	46	69.6	21.7	26.1	17.4	8.7	10.9	-	17.4
橋北	27	63.0	44.4	22.2	29.6	7.4	7.4	3.7	3.7
楠	47	61.7	25.5	19.1	12.8	4.3	2.1	-	17.0
わからない	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(当てはまるものすべてに○) 【N=1,388、1,414(第7期調査)】

家族や友人・知人以外の相談相手については、「そのような人はいない」が42.9%で最も高くなっています。相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が27.0%で最も高く、次いで、「市役所」(16.1%)、「社会福祉協議会・民生委員」(14.3%)が続いています。

第7期調査と比較すると、「そのような人はいない」が2.0ポイント上昇する一方、「社会福祉協議会・民生委員」が2.8ポイント低下しています。



世帯状況別クロス

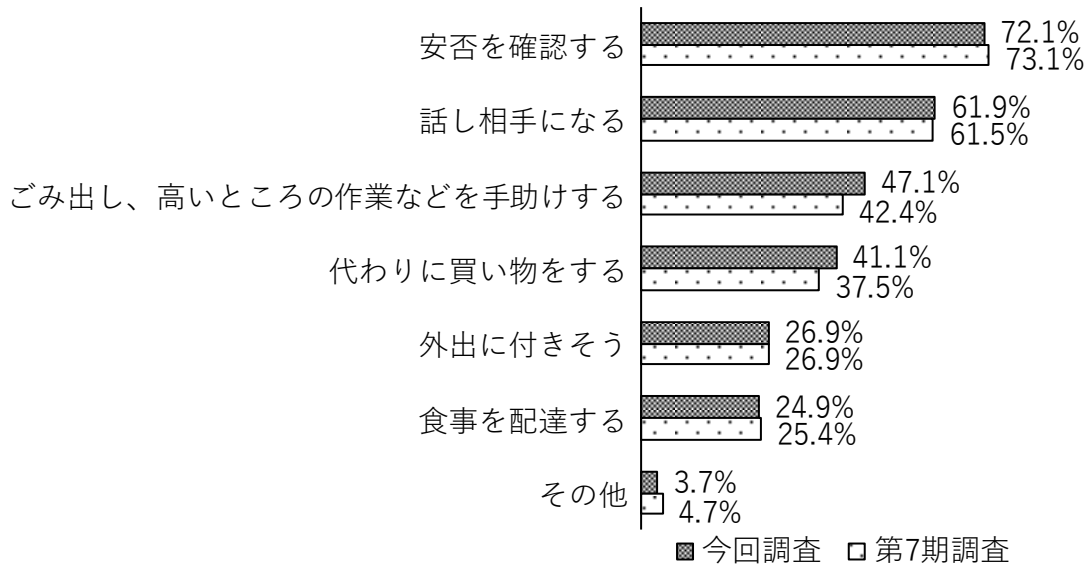
世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも「そのような人はいない」が最も高く、特に、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では54.5%に上ります。相談相手は、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「市役所」が最も高くなっていますが、その他の世帯状況では全体結果と同様に「医師・歯科医師・看護師」が最も高くなっています。

	合計	会自治会・老人クラブ	会社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・看護師・歯科医師	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	市役所	その他	いそのような人は
全体	1352	12.4	14.2	6.3	27.1	7.4	6.0	16.0	3.8	43.0
1人暮らし	233	11.2	15.5	8.2	19.7	6.4	5.2	16.3	7.3	45.1
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	590	13.6	15.6	5.8	28.0	8.5	7.1	15.3	2.2	41.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	55	10.9	7.3	-	14.5	1.8	3.6	20.0	5.5	54.5
息子・娘との 2世帯	245	13.5	13.5	5.3	35.1	6.1	6.5	14.7	3.7	39.6
その他	102	7.8	7.8	7.8	24.5	6.9	1.0	10.8	5.9	50.0
その他(2世代)	127	11.8	15.0	8.7	28.3	9.4	6.3	23.6	2.4	40.9

(6) 介護や支援が必要な人の日常生活を手助けするために、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○) 【N=1,347、1,391(第7期調査)】

介護や支援が必要な人の日常生活を手助けするために必要なことについては、「安否を確認する」が72.1%で最も高くなっています。次いで、「話し相手になる」(61.9%)、「ごみ出し、高いところの作業などを手助けする」(47.1%)、「代わりに買い物をする」(41.1%)などが続いています。

第7期調査と比較すると、「ごみ出し、高いところの作業などを手助けする」が4.7ポイント、「代わりに買い物をする」が3.6ポイント、それぞれ上昇しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも全体結果と同様に「安否を確認する」が最も高くなっています。また、『85歳以上女』では「ごみ出し、高いところの作業などを手助けする」と「代わりに買い物をする」が2番目に高くなっていますが、その他の性・年齢では「話し相手になる」が2番目に高くなっています。

		合計	安否を確認する	外出に付きそう	ごみ出し、高いところの作業などを手助けする	代わりに買い物をする	食事を配達する	話し相手になる	その他
65～74歳	計	675	76.3	29.2	49.9	45.2	28.3	64.4	3.0
	男	309	79.0	26.9	53.7	40.5	26.5	65.0	2.3
	女	366	74.0	31.1	46.7	49.2	29.8	63.9	3.6
75～84歳	計	463	68.7	22.9	43.0	34.8	19.4	60.0	4.5
	男	220	69.5	15.9	45.5	26.8	15.0	55.5	4.1
	女	243	67.9	29.2	40.7	42.0	23.5	64.2	4.9
85歳以上	計	81	58.0	29.6	44.4	42.0	24.7	51.9	6.2
	男	34	64.7	29.4	35.3	29.4	29.4	55.9	8.8
	女	47	53.2	29.8	51.1	51.1	21.3	48.9	4.3

認定状況別クロス

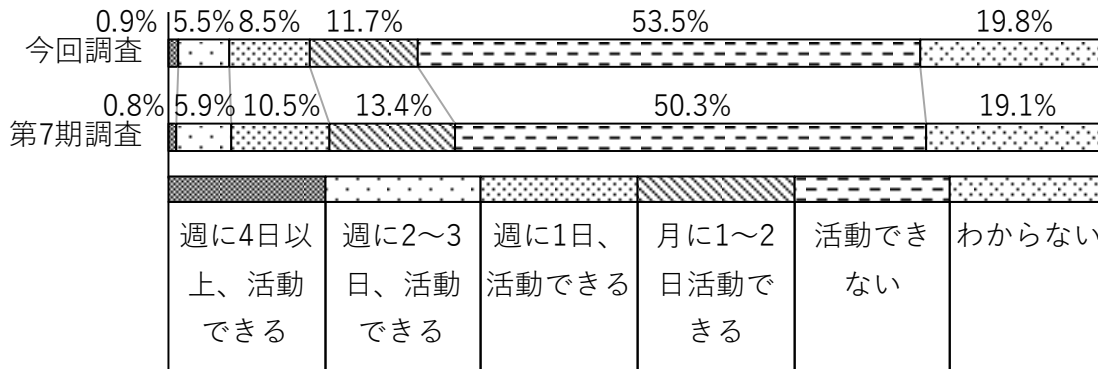
認定状況別にみると、『事業対象者』では「話し相手になる」が最も高く、「安否を確認する」と「ごみ出し、高いところの作業などを手助けする」が同率で続いています。その他の認定状況では全体結果と同様に「安否を確認する」が最も高く、「話し相手になる」が続いています。

	合計	安否を確認する	外出に付きそう	ごみ出し、高いところの作業などを手助けする	代わりに買い物をする	食事を配達する	話し相手になる	その他
全体	1309	72.6	26.9	47.2	41.0	24.9	61.7	3.7
要支援1	62	58.1	30.6	30.6	25.8	25.8	46.8	8.1
要支援2	23	65.2	21.7	47.8	43.5	39.1	52.2	4.3
事業対象者	6	66.7	-	66.7	50.0	50.0	100.0	-
受けていない	1199	73.4	27.1	48.1	41.9	24.4	62.4	3.6
わからない	19	78.9	15.8	36.8	31.6	31.6	68.4	-

(7) あなたは、前問のような日常生活を手助けするボランティアとして、活動することはできますか。(○はひとつ) 【N=1,381、1,417(第7期調査)】

ボランティアとして活動することができるかどうかについては、「活動できない」が過半数(53.5%)を占めています。「月に1~2日活動できる」(11.7%)や「週に1日、活動できる」(8.5%)などの『活動できる』人は合わせて26.6%となっています。

第7期調査と比較すると、「活動できない」が3.2ポイント上昇する一方、『活動できる』人は4.0ポイント低下しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも「活動できない」が最も高くなっており、特に、『85歳以上』の男女では85%以上となっています。一方、『活動できる』人は『75~84歳男』では31.7%と高くなっています。

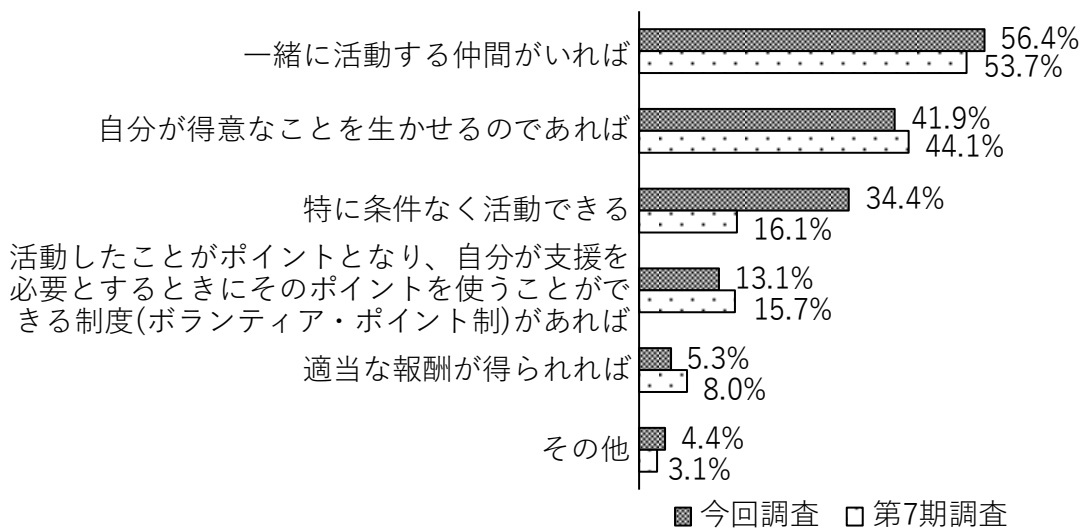
		合計	週に4日以上、活動できる	週に2~3日、活動できる	週に1日、活動できる	月に1~2日活動できる	活動できない	わからない
65~74歳	計	685	0.7	5.1	8.3	13.0	49.3	23.5
	男	320	0.6	6.9	9.1	10.6	46.6	26.3
	女	365	0.8	3.6	7.7	15.1	51.8	21.1
75~84歳	計	476	0.8	7.6	9.7	12.0	52.3	17.6
	男	227	0.4	9.7	10.6	11.0	46.7	21.6
	女	249	1.2	5.6	8.8	12.9	57.4	14.1
85歳以上	計	86	2.3	-	-	2.3	86.0	9.3
	男	37	2.7	-	-	2.7	86.5	8.1
	女	49	2.0	-	-	2.0	85.7	10.2

【(7)で「1.週に4日以上、活動できる」「2.週に2～3日、活動できる」「3.週に1日、活動できる」「4.月に1～2日活動できる」を選んだ人に伺います。】

(7)-① どのような条件が整えば、進んでボランティア活動に参加すると思いますか。(当てはまるものすべてに○) 【N=360、415(第7期調査)】

どのような条件が整えばボランティア活動に参加するかについては、「一緒に活動する仲間がいれば」が56.4%で最も高く、次いで、「自分が得意なことを生かせるのであれば」が41.9%で続いています。一方、「特に条件なく活動できる」と回答した人は34.4%あります。

第7期調査と比較すると、「特に条件なく活動できる」が18.3ポイント上昇しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、65～84歳の男女ではいずれも全体結果と同様に「一緒に活動する仲間がいれば」が最も高くなっています。

		合計	特に条件なく活動できる	活動したことがポイントとなり、自分が支援を必要とするときにそのポイントを使うことができる 制度（ボランティア・ポイント制）があれば	適当な報酬が得られれば	一緒に活動する仲間がいれば	自分が得意なことを生かせるのであれば	その他
65～74歳	計	183	30.6	14.8	8.7	56.8	48.6	5.5
	男	86	39.5	7.0	10.5	53.5	47.7	4.7
	女	97	22.7	21.6	7.2	59.8	49.5	6.2
75～84歳	計	140	36.4	11.4	1.4	55.7	35.0	3.6
	男	72	41.7	11.1	-	50.0	45.8	1.4
	女	68	30.9	11.8	2.9	61.8	23.5	5.9
85歳以上	計	4	50.0	25.0	-	-	25.0	25.0
	男	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-
	女	2	50.0	-	-	-	-	50.0

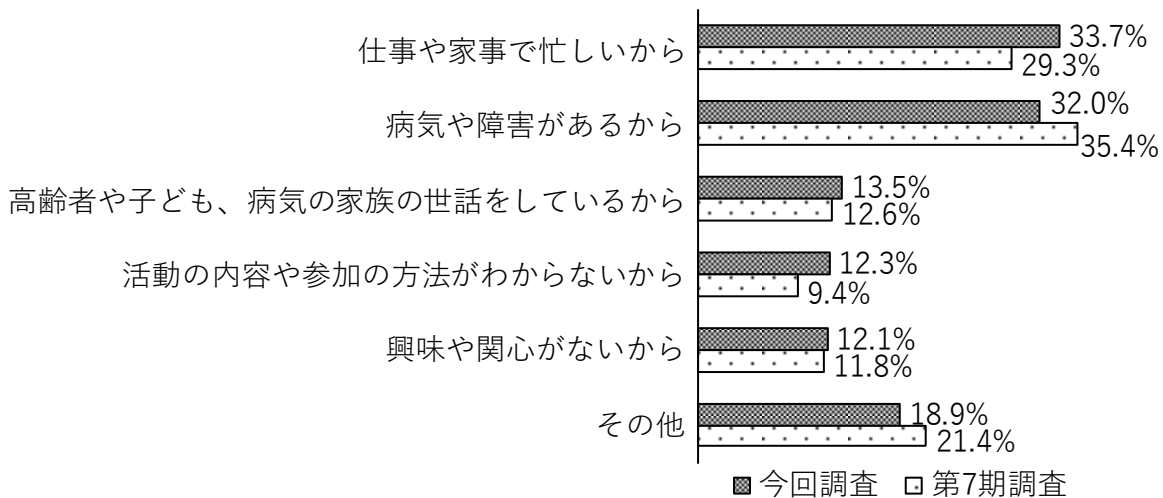
【(7)で「5.活動できない」を選んだ人に伺います。】

(7)-② なぜ、活動できないのですか。(当てはまるものすべてに○)

【N=725、692(第7期調査)】

活動できない理由については、「仕事や家事で忙しいから」が33.7%で最も高く、次いで、「病気や障害があるから」が32.0%と僅差が続いています。一方、「活動の内容や参加の方法がわからないから」が12.3%あり、本来は活動意向があると考えられるため、対処が必要であると言えます。

第7期調査と比較すると、「仕事や家事で忙しいから」が4.4ポイント、「活動の内容や参加の方法がわからないから」が2.9ポイント、それぞれ上昇しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『65～74歳』の男女では「仕事や家事で忙しいから」が最も高く、75歳以上の男女では「病気や障害があるから」が最も高くなっています。

		合計	仕事や家事で忙しいから	病気や障害があるから	高齢者や子ども、病気の家族の世話をしているから	活動の内容や参加の方法がわからないから	興味や関心がないから	その他
65～74歳	計	336	50.9	21.7	17.3	12.2	13.7	12.2
	男	148	53.4	13.5	12.2	12.2	20.3	9.5
	女	188	48.9	28.2	21.3	12.2	8.5	14.4
75～84歳	計	244	18.4	41.4	12.7	13.5	11.5	22.1
	男	105	21.0	41.9	4.8	17.1	18.1	18.1
	女	139	16.5	41.0	18.7	10.8	6.5	25.2
85歳以上	計	69	14.5	50.7	-	7.2	10.1	31.9
	男	31	19.4	58.1	-	9.7	12.9	19.4
	女	38	10.5	44.7	-	5.3	7.9	42.1

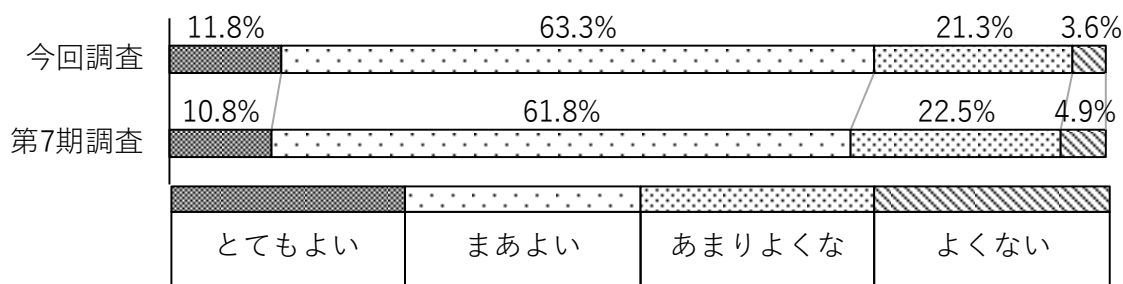
問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇はひとつ)

【N=1,426、1,512(第7期調査)】

健康状態については、『健康だと思っている人』(「とてもよい」(11.8%)と「まあよい」(63.3%)の合計)は75.1%に上っています。一方、『健康ではないと思っている人』(「あまりよくない」(22.5%)と「よくない」(4.9%)の合計)は24.9%となっています。

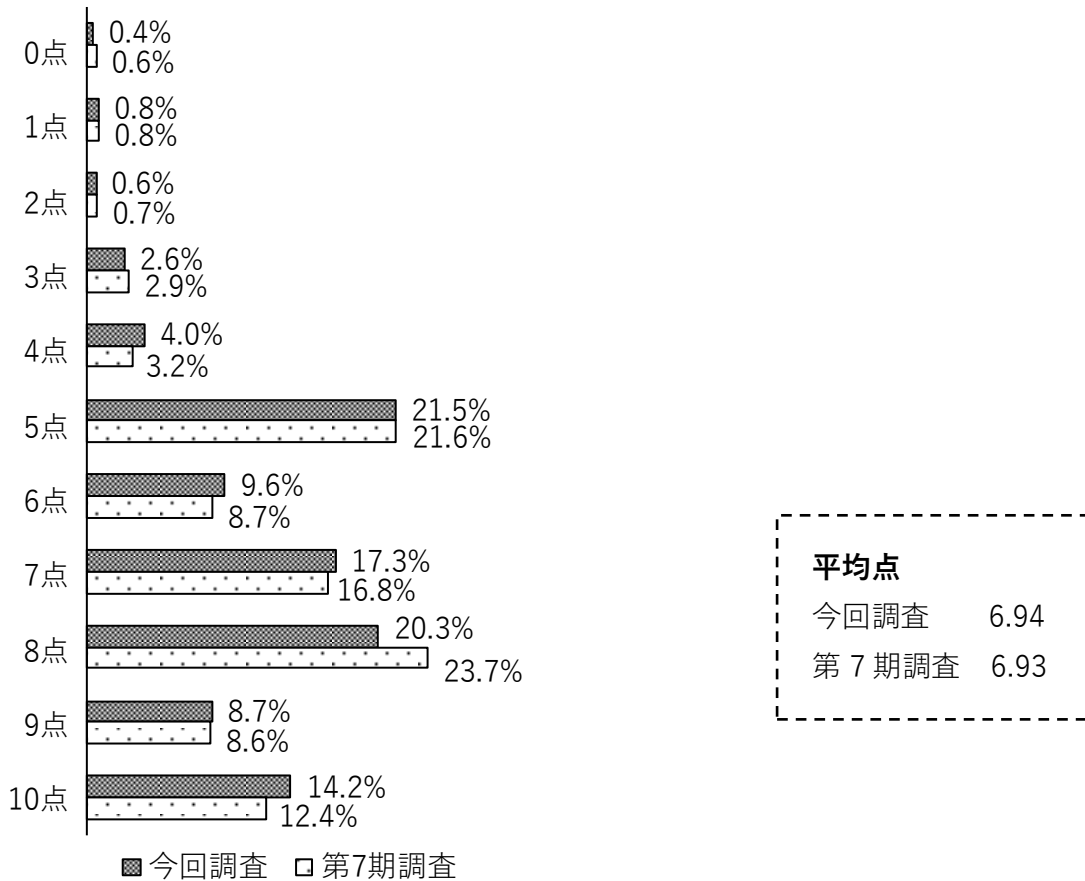
第7期調査と比較すると、『健康だと思っている人』が2.5ポイント上昇しています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。【N=1,392、1,480(第7期調査)】

現在の幸福感については、「5点」が21.5%で最も高く、次いで、「8点」(20.3%)、「7点」(17.3%)と続いています。「6点」以上は合わせて70.1%、「5点」以下は29.9%で平均6.94点と、幸福感は高めであると言えます。

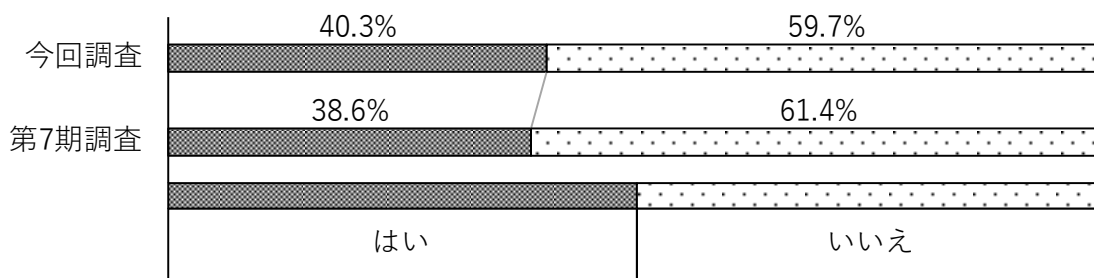
第7期調査と比較すると、「8点」が3.4ポイント低下し、「10点」が1.8ポイント上昇しています。「6点」以上の合計値に差はほとんどみられず、平均点は0.01点上昇しました。



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ) 【N=1,404、1,498(第7期調査)】

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった人は40.3%となっています。

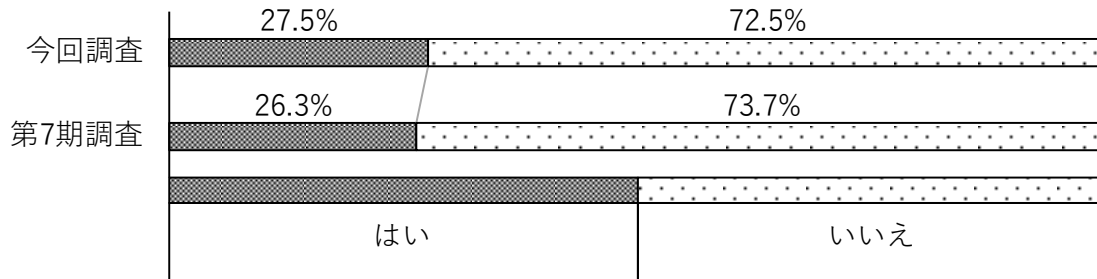
第7期調査と比較すると、あった人が1.7ポイント上昇しています。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ) 【N=1,409、1,489(第7期調査)】

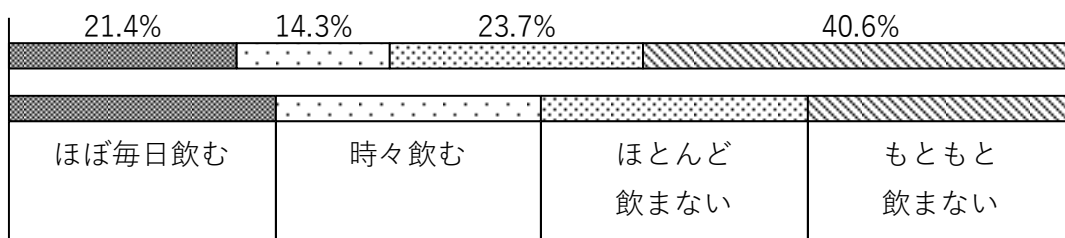
物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じが『よくあった人』は 27.5%となっています。

第7期調査と比較すると、『よくあった人』が1.2ポイント上昇しています。



(5) お酒は飲みますか。(○はひとつ) 【N=1,430】

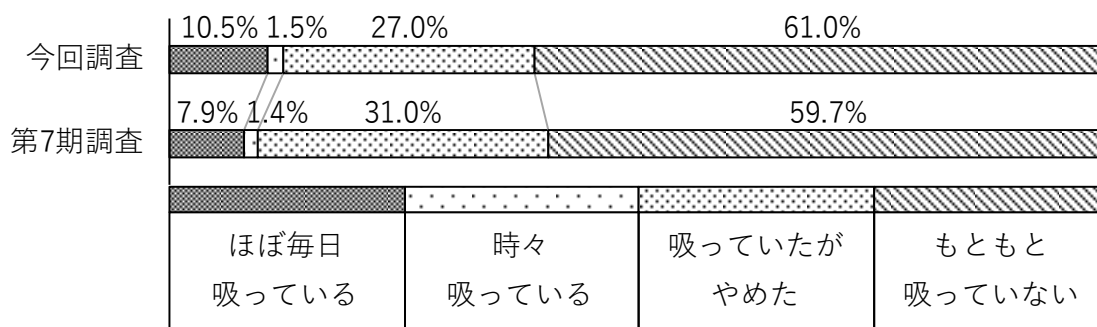
飲酒状況については、「もともと飲まない」が40.6%と最も高く、次いで、「ほとんど飲まない」が23.7%で続いています。一方、お酒を「ほぼ毎日飲む」(21.4%)、「時々飲む」(14.3%)と回答した『飲酒習慣のある人』は35.7%となっています。



(6) タバコは吸っていますか。(○はひとつ) 【N=1,425、1,510(第7期調査)】

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が61.0%と最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」が27.0%で続いています。一方、タバコを「ほぼ毎日吸っている」(10.5%)、「時々吸っている」(1.5%)と回答した『喫煙習慣のある人』は12.0%となっています。

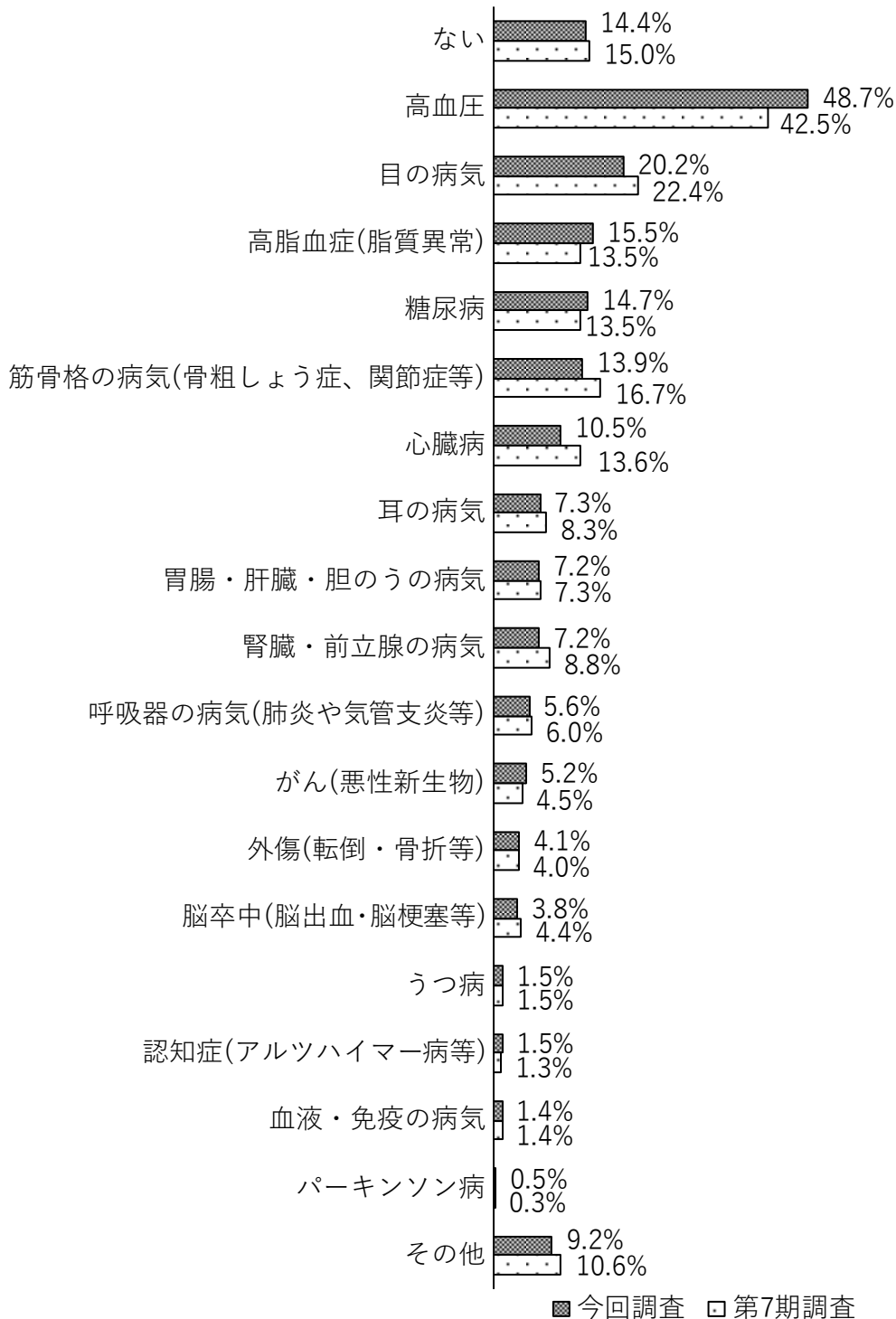
第7期調査と比較すると、『喫煙習慣のある人』が2.7ポイント上昇しています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(当てはまるものすべてに
○) 【N=1,377、1,483(第7期調査)】

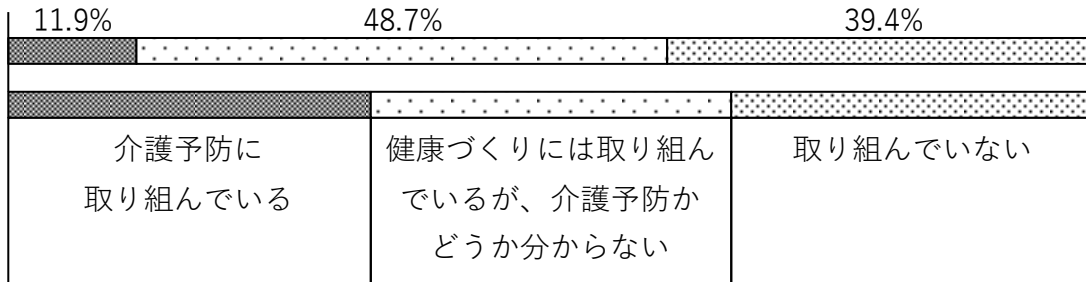
現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が48.7%で最も高く、次いで、「目の病気」(20.2%)、「高脂血症(脂質異常)」(15.5%)が続いています。一方、「ない」と回答した人は14.4%となっています。

第7期調査と比較すると、「高血圧」が6.2ポイント上昇しています。



(8) 寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないように予防することを「介護予防」といいますが、あなたは「介護予防」に取り組んでいますか。(○はひとつ) 【N=1,381】

介護予防に取り組んでいるかどうかについては、「健康づくりには取り組んでいるが、介護予防かどうか分からない」が48.7%で最も高く、次いで、「取り組んでいない」が39.4%となっています。一方、「介護予防に取り組んでいる」は11.9%となっています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『65～74歳男』、『75～84歳男』、『85歳以上女』では「取り組んでいない」が、その他の性・年齢では「健康づくりには取り組んでいるが、介護予防かどうか分からない」が、それぞれ最も高くなっています。

		合計	介護予防に取り組んでいる	分からない	健康づくりには取り組んでいるが、介護予防かどうか	取り組んでいない
65～74歳	計	677	9.3	50.7	40.0	
	男	314	7.0	44.3	48.7	
	女	363	11.3	56.2	32.5	
75～84歳	計	480	16.0	46.3	37.7	
	男	229	13.1	43.2	43.7	
	女	251	18.7	49.0	32.3	
85歳以上	計	89	15.7	42.7	41.6	
	男	39	12.8	46.2	41.0	
	女	50	18.0	40.0	42.0	

認定状況別クロス

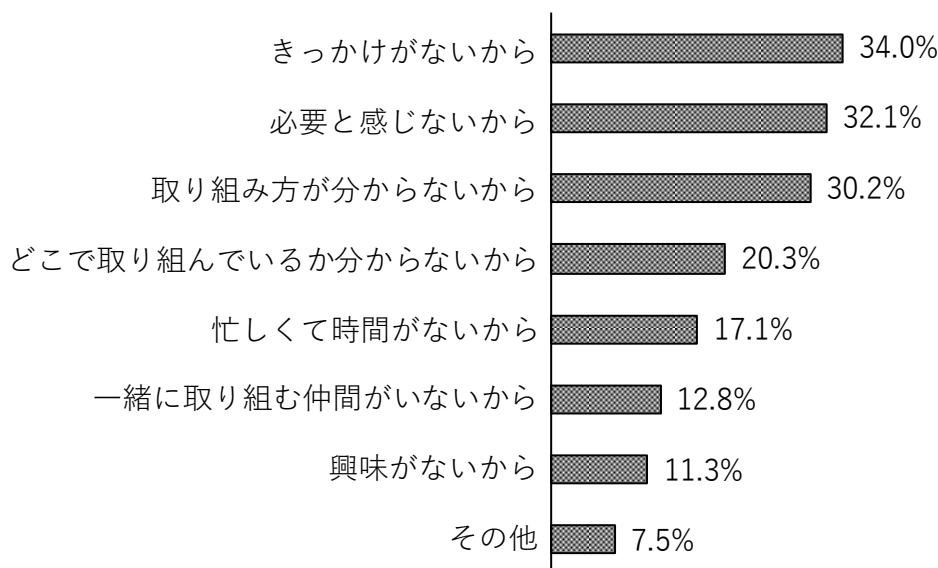
認定状況別にみると、『要支援1』と『わからない』では「取り組んでいない」が、その他の認定状況では「健康づくりには取り組んでいるが、介護予防かどうか分からない」が、それぞれ最も高くなっています。一方、『要支援2』では「介護予防に取り組んでいる」が36.4%と、その他の認定状況に比べて特に高くなっています。

	合計	介護予防に取り組んでいる	健康づくりには取り組んでいるが、介護予防かどうか分からない	取り組んでいない
全体	1332	11.9	48.9	39.1
要支援1	63	23.8	28.6	47.6
要支援2	22	36.4	40.9	22.7
事業対象者	6	16.7	66.7	16.7
受けていない	1221	10.9	50.2	38.9
わからない	20	10.0	40.0	50.0

【(8)で「3.取り組んでいない」を選んだ人に伺います。】

(8)-① 「介護予防」に取り組んでいない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=533】

介護予防に取り組んでいない理由については、「きっかけがないから」が34.0%で最も高く、次いで、「必要と感じないから」(32.1%)、「取り組み方が分からないから」(30.2%)が続いています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、65歳以上の男では「必要と感じないから」が、65～84歳の女では「きっかけがないから」が、それぞれ最も高くなっています。また、『85歳以上女』では「取り組み方が分からないから」が最も高く、『85歳以上男』では回答が分散しています。

		合計	必要と感じないから	興味がないから	忙しくて時間がないから	取り組み方が分からないから	どこで取れないから	一緒に取れないから	きっかけがないから	その他
65～74歳	計	268	33.6	12.7	20.5	29.5	19.8	11.9	32.8	5.2
	男	151	41.1	16.6	15.9	27.8	19.2	9.3	32.5	3.3
	女	117	23.9	7.7	26.5	31.6	20.5	15.4	33.3	7.7
75～84歳	計	176	30.1	10.8	11.4	30.1	20.5	13.6	33.0	9.7
	男	98	42.9	13.3	7.1	32.7	21.4	8.2	33.7	4.1
	女	78	14.1	7.7	16.7	26.9	19.2	20.5	32.1	16.7
85歳以上	計	36	30.6	5.6	19.4	36.1	27.8	19.4	33.3	11.1
	男	15	33.3	13.3	20.0	33.3	33.3	26.7	33.3	13.3
	女	21	28.6	-	19.0	38.1	23.8	14.3	33.3	9.5

認定状況別クロス

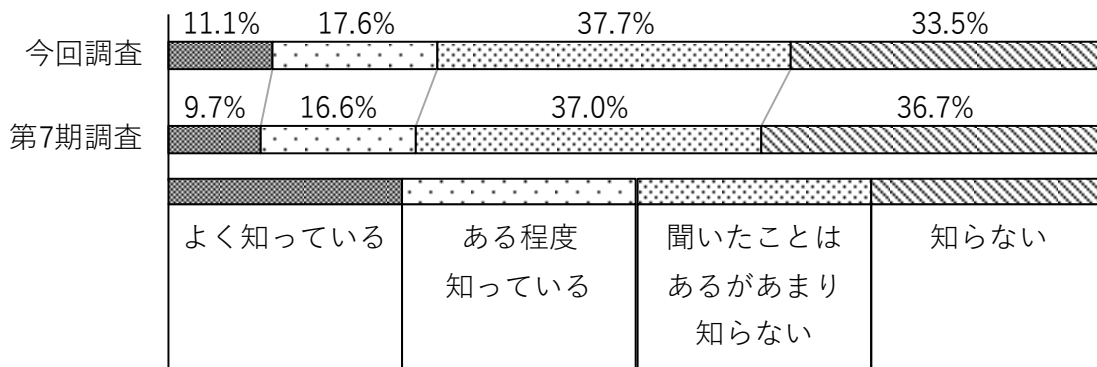
認定状況別にみると、『要支援1』では「取り組み方が分からないから」が、『事業対象者』では「忙しくて時間がないから」が、『受けていない』では「きっかけがないから」が、『わからない』では「必要と感じないから」が、それぞれ最も高くなっています。また、『要支援2』では回答が分散しています。

	合計	必要と感じないから	興味がないから	忙しくて時間がないから	取り組み方が分からないから	どこで取れないから	一緒に取れないから	きっかけがないから	その他
全体	510	32.2	11.0	17.5	30.8	21.0	12.7	34.1	7.1
要支援1	29	6.9	6.9	10.3	44.8	37.9	27.6	37.9	13.8
要支援2	5	-	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0
事業対象者	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
受けていない	465	34.0	11.2	17.6	30.5	20.6	11.4	34.2	6.7
わからない	10	40.0	10.0	20.0	20.0	-	30.0	30.0	-

問 8 在宅医療や認知症対策について

(1) 通院が困難な方へ医師が診療計画を立て、定期的な診療を行う「訪問診療」という制度を知っていますか。(○はひとつ) 【N=1,404、1,476(第7期調査)】

訪問診療について、『知らない』(「知らない」(33.5%)と「聞いたことはあるがあまり知らない」(37.7%)の合計)は71.2%を占めており、訪問診療の認知度は低いと言えます。一方、『知っている』(「よく知っている」(11.1%)と「ある程度知っている」(17.6%)の合計)は 28.7%となっています。第7期調査と比較すると、『知っている』が2.4ポイント上昇しています。



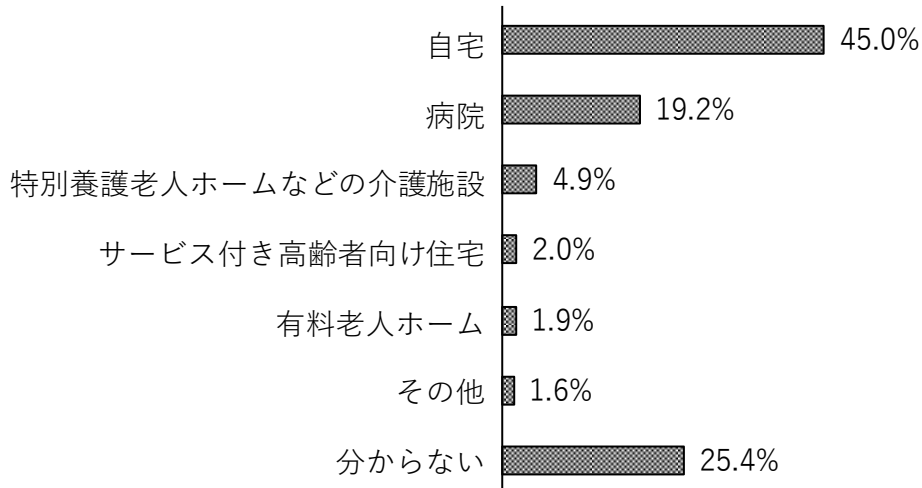
ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれも全体結果と同様に『知っている』は30%弱となっていますが、『中ブロック』では『北ブロック』や『南ブロック』に比べて若干低くなっています。

	合計	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるがあまり知らない	知らない
全体	1371	10.9	17.6	37.8	33.8
北ブロック	416	12.0	17.8	37.7	32.5
中ブロック	483	9.9	16.8	34.6	38.7
南ブロック	470	10.9	18.3	41.1	29.8

(2) 人生の最期を迎えるとき、あなたはどこでの看取りを希望しますか。(〇はひとつ) 【N=1,400】

人生の最後を迎えるときに希望する看取りの場所については、「自宅」が45.0%で最も高く、次いで、「分からない」(25.4%)、「病院」(19.2%)が続いています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも全体結果と同様に「自宅」が最も高くなっています。また、『65～74歳』は男女とも「分からない」が約30%と高く、『75～84歳女』では「病院」が25.3%と、他の性・年齢に比べて高くなっています

		合計	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	病院	その他	分からない
65～74歳	計	682	40.9	5.1	1.5	3.2	17.2	1.8	30.4
	男	316	43.7	5.1	1.9	2.2	16.8	1.9	28.5
	女	366	38.5	5.2	1.1	4.1	17.5	1.6	32.0
75～84歳	計	482	47.7	5.4	1.7	1.2	21.6	1.7	20.7
	男	233	53.6	3.4	1.3	1.7	17.6	2.1	20.2
	女	249	42.2	7.2	2.0	0.8	25.3	1.2	21.3
85歳以上	計	95	53.7	1.1	6.3	-	17.9	1.1	20.0
	男	41	63.4	-	2.4	-	17.1	2.4	14.6
	女	54	46.3	1.9	9.3	-	18.5	-	24.1

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、『1人暮らし』では「わからない」が最も高くなっていますが、その他の世帯状況ではいずれも全体結果と同様に「自宅」が最も高くなっています。

	合計	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	病院	その他	分からない
全体	1364	44.7	5.0	1.8	2.1	19.1	1.5	25.7
1人暮らし	233	32.2	6.4	2.1	3.4	20.2	1.7	33.9
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	599	46.2	4.5	2.3	2.5	19.9	2.0	22.5
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	57	43.9	5.3	1.8	1.8	17.5	1.8	28.1
息子・娘との 2世帯	249	50.2	5.6	2.0	1.2	17.3	1.2	22.5
その他	98	55.1	4.1	-	1.0	14.3	1.0	24.5
その他(2世代)	128	42.2	3.9	-	-	21.9	-	32.0

ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「自宅」が最も高くなっています。

	合計	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	病院	その他	分からない
全体	1369	44.7	4.9	1.9	2.0	19.1	1.5	25.9
北ブロック	420	46.2	3.8	2.1	1.9	17.6	2.1	26.2
中ブロック	484	43.0	5.0	2.1	1.7	19.6	0.8	27.9
南ブロック	464	45.3	5.8	1.5	2.6	19.6	1.7	23.5

(3) あなた、またはあなたのご家族が介護を必要とし、さらに、治る見込みのない病気になった場合、自宅で最期まで療養することができると思いますか。(○はひとつ) 【N=1,374、1,462(第7期調査)】

家族が自宅で最期まで療養することができると思うかについては、「できないと思う」が過半数(56.3%)を占めています。「できると思う」は10.7%となっています。

第7期調査と比較すると、「できないと思う」が1.6ポイント上昇しています。

今回調査	10.7%	56.3%	33.0%
第7期調査	10.9%	54.7%	34.4%
	できると思う	できないと思う	わからない

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも「できないと思う」が最も高くなっています。一方、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「できると思う」が18.2%あり、他の世帯状況に比べて高くなっています。

	合計	できると思う	できないと思う	わからない
全体	1337	10.4	56.9	32.7
1人暮らし	217	5.5	65.0	29.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	591	10.0	56.3	33.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	55	18.2	49.1	32.7
息子・娘との 2世帯	245	13.5	52.7	33.9
その他	101	11.9	54.5	33.7
その他(2世代)	128	10.2	59.4	30.5

ブロック別クロス

ブロック別にみると、全体結果と同様にいずれも「できないと思う」が最も高くなっています。一方、『北ブロック』では「できると思う」が11.8%あり、他の日常生活圏域に比べて若干高くなっています。

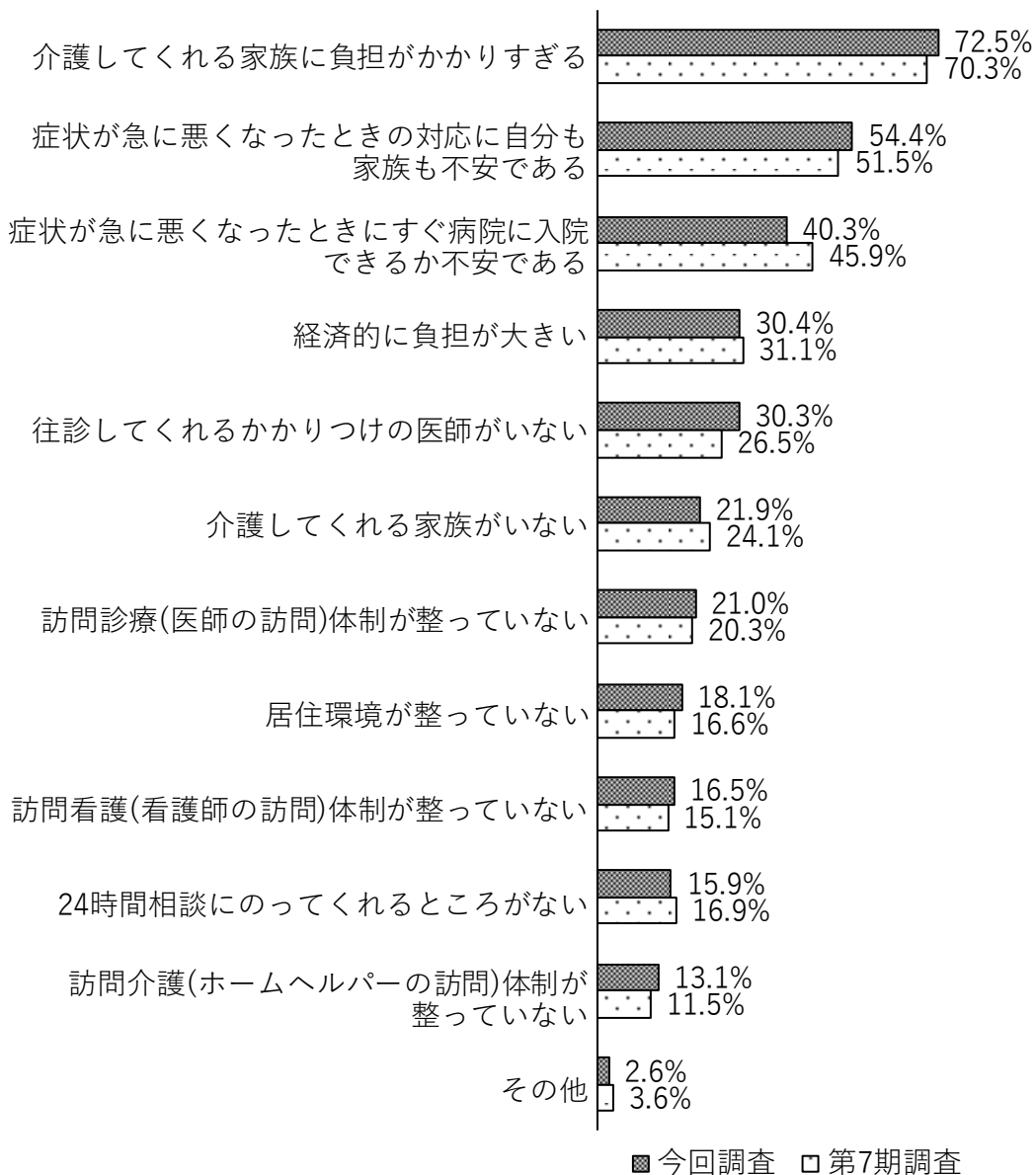
	合計	できると思う	できないと思う	わからない
全体	1344	10.3	56.9	32.7
北ブロック	406	11.8	55.4	32.8
中ブロック	476	9.7	57.1	33.2
南ブロック	460	9.8	58.0	32.2

【(3)で「2.できないと思う」を選んだ人に伺います。】

(3)-① 自宅で最期まで療養することができないと思う理由をお答えください。
 (当てはまるものすべてに○) 【N=757、788(第7期調査)】

自宅で最期まで療養することができないと思う理由については、「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が72.5%で最も高く、次いで、「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」(54.4%)、「症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安である」(40.3%)が続いています。

第7期調査と比較すると、「症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安である」が5.6ポイント低下し、「往診してくれるかかりつけの医師がない」が3.8ポイント上昇しています。



世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が最も高くなっています。また、『1人暮らし』では「介護してくれる家族がない」が47.1%、『その他(2世代)』では「経済的に負担が大きい」が40.0%と、それぞれ他の世帯状況に比べて特に高くなっています。

	合計	が往診してくれ ない	訪問診療（医師 の訪問）体制が 整っていない	訪問看護（看護 師の訪問）体制 が整っていない	訪問介護（ホーム ヘルパーの訪問 ）体制が整って いない	24時間相談に のってくれ ない	介護してく れる家族が いない	介護してく れる家族に 負担がか かりすぎる	症状が急に 悪くなった ときの対応 に自分も家 族も不安で ある	症状が急に 悪くなった とき、す ぐ病院に入 院できるか 不安である	居住環境が 整っていない	経済的に負 担が大きい	その他
全体	744	30.4	21.1	16.8	13.3	16.0	21.6	72.7	54.4	40.5	18.3	30.4	2.6
1人暮らし	138	29.7	13.8	10.9	12.3	14.5	47.1	55.1	33.3	38.4	19.6	29.0	3.6
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	327	33.9	24.2	21.4	16.2	18.3	20.2	74.9	61.2	39.4	19.3	29.7	1.5
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	26	26.9	23.1	7.7	11.5	11.5	3.8	76.9	46.2	34.6	19.2	30.8	-
息子・娘との 2世帯	125	23.2	22.4	14.4	7.2	12.0	9.6	80.0	57.6	44.0	12.8	28.0	1.6
その他	53	28.3	17.0	15.1	11.3	17.0	18.9	79.2	58.5	43.4	13.2	30.2	-
その他(2世代)	75	30.7	21.3	16.0	14.7	16.0	9.3	77.3	58.7	42.7	24.0	40.0	9.3

ブロック別クロス

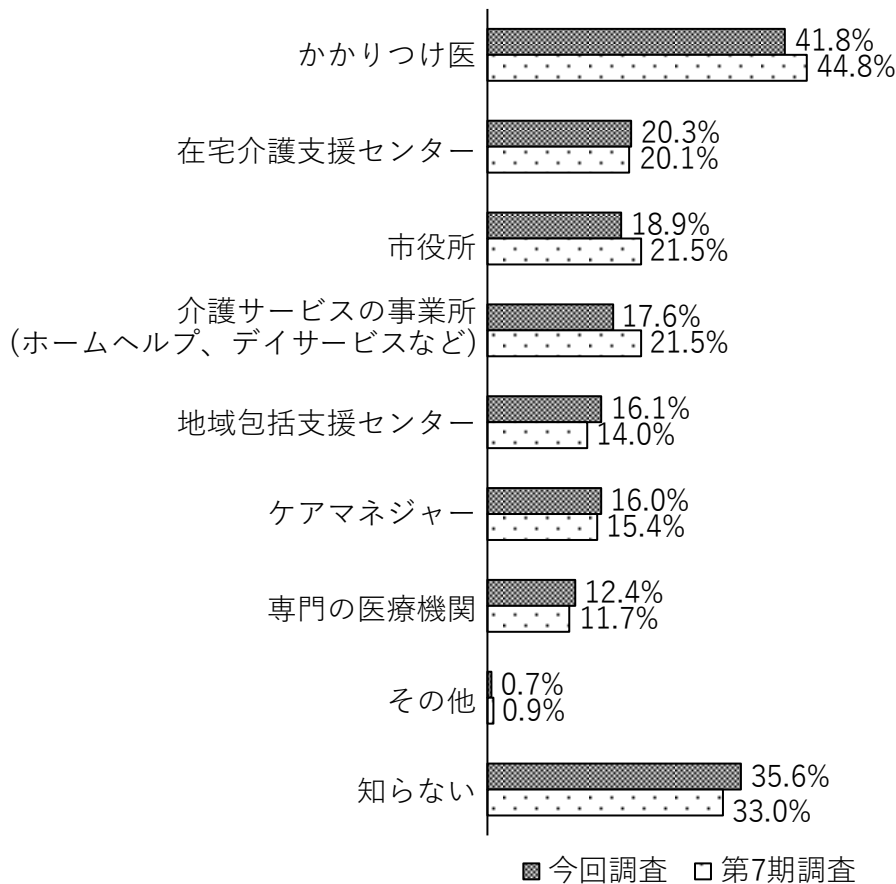
ブロック別にみると、全体結果と同様にいずれも「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が最も高く、次いで、「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」、「症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安である」が続いており、圏域による差はあまりありません。

	合計	が往診してくれ ない	訪問診療（医師の 訪問）体制が 整っていない	訪問看護（看護師 の訪問）体制が 整っていない	訪問介護（ホーム ヘルパー）の訪 問）体制が整っ ていない	24時間相談にの つてくれるとこ ろがない	介護してくれる 家族がいない	介護してくれる 家族に負担がか かりすぎる	症状が急に悪く なったときの対 応に自分も家族 も不安である	症状が急に悪く なったときにす ぐ病院に入院で きるか不安であ る	居住環境が整っ ていない	経済的に負担が 大きい	その他
全体	749	30.3	21.1	16.7	13.2	15.9	21.8	72.8	54.3	40.5	18.2	30.2	2.7
北ブロック	221	30.3	24.0	19.0	17.2	17.6	22.6	75.6	59.3	43.4	14.0	33.5	2.7
中ブロック	267	31.5	19.9	17.2	12.0	16.5	19.1	76.4	49.1	37.1	17.6	28.5	3.4
南ブロック	260	28.8	20.0	14.2	11.2	13.8	23.8	66.5	55.4	41.2	22.3	29.2	1.9

(4) 訪問診療や看取りのことなど、在宅医療に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=1,336、1,390(第7期調査)】

知っている在宅医療に関する相談窓口については、「かかりつけ医」が41.8%で最も高く、次いで、「在宅介護支援センター」(20.3%)、「市役所」(18.9%)が続いています。一方、「知らない」は35.6%となっています。

第7期調査と比較すると、「介護サービスの事業所」が3.9ポイント、「かかりつけ医」が3.0ポイント、「市役所」が2.6ポイント、それぞれ低下し、「知らない」が2.6ポイント上昇しています。



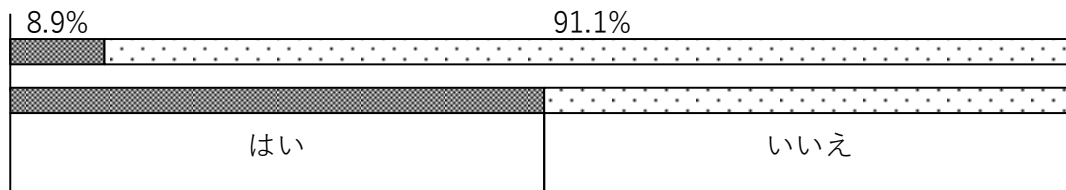
ブロック別クロス

ブロック別にみると、知っている相談窓口は、いずれも全体結果と同様に「かかりつけ医」が最も高くなっています。また、『北ブロック』では「在宅介護支援センター」が、『中ブロック』と『南ブロック』では「市役所」が2番目に高くなっています。

	合計	かかりつけ医	専門の医療機関	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	市役所	ケアマネジャー	介護サービス事業者（ホームヘルプ、デイサービスなど）	その他	知らない
全体	1305	41.5	12.5	20.3	16.1	18.9	15.9	17.5	0.7	35.9
北ブロック	400	42.5	12.8	23.3	16.5	14.2	14.0	18.8	0.5	36.8
中ブロック	453	42.2	9.5	18.3	14.8	21.9	15.9	17.0	0.4	36.9
南ブロック	450	40.0	15.3	19.8	17.1	20.2	17.6	17.1	1.1	34.0

(5) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ) 【N=1,397】

認知症の症状がある人の有無については、「いいえ」が91.1%、「はい」が8.9%となっています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも「いいえ」が80%以上を占めています。

		合計	はい	いいえ
65～74歳	計	681	7.0	93.0
	男	315	7.9	92.1
	女	366	6.3	93.7
75～84歳	計	491	9.8	90.2
	男	237	10.1	89.9
	女	254	9.4	90.6
85歳以上	計	93	14.0	86.0
	男	39	15.4	84.6
	女	54	13.0	87.0

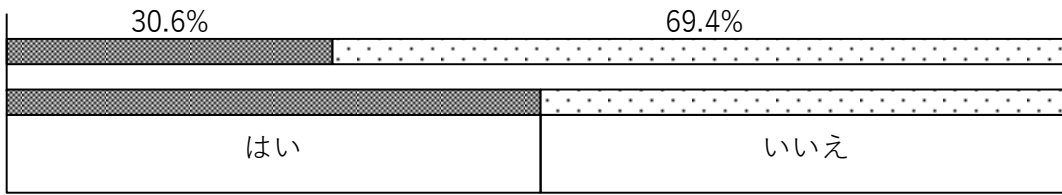
ブロック別クロス

ブロック別にみると、『中ブロック』では「はい」が10.2%と、他の日常生活圏域に比べて若干高くなっています。

	合計	はい	いいえ
全体	1365	9.1	90.9
北ブロック	413	9.2	90.8
中ブロック	484	10.1	89.9
南ブロック	466	7.7	92.3

(6) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ) 【N=1,338】

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「いいえ」が69.4%、「はい」が30.6%となっており、認知度は低くなっています。



ブロック別クロス

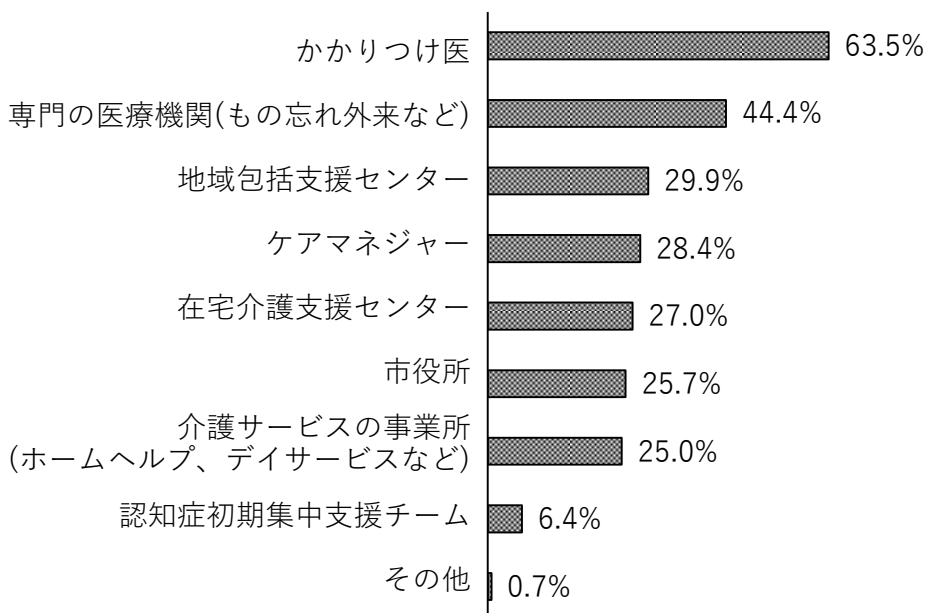
ブロック別にみると、『中ブロック』では「はい」が33.1%と、他の日常生活圏域に比べて若干高くなっています。

	合計	はい	いいえ
全体	1306	30.5	69.5
北ブロック	389	27.5	72.5
中ブロック	468	33.1	66.9
南ブロック	447	30.2	69.8

【(6)で「1.はい」を選んだ人に伺います。】

(6)-① 認知症に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=408、1,442(第7期調査)】

知っている認知症に関する相談窓口については、「かかりつけ医」が63.5%で最も高く、次いで、「専門の医療機関(もの忘れ外来など)」(44.4%)、「地域包括支援センター」(29.9%)が続いています。



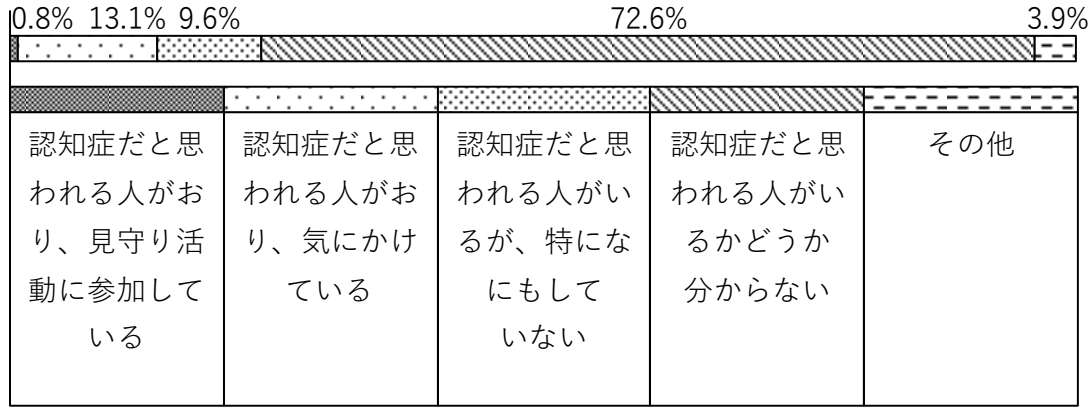
ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「かかりつけ医」が最も高く、「専門の医療機関（もの忘れ外来など）」が2番目に高くなっています。

	合計	かかりつけ医	専門の医療機関（もの忘れ外来など）	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	認知症初期集中支援チーム	市役所	ケアマネジャー	介護サービスの事業所（ホームヘルプ、デイサービスなど）	その他
全体	397	63.5	44.3	27.0	30.2	6.3	25.7	29.2	25.7	0.8
北ブロック	107	68.2	46.7	32.7	36.4	5.6	25.2	28.0	27.1	-
中ブロック	155	69.7	40.0	21.9	25.8	6.5	31.6	28.4	28.4	1.3
南ブロック	134	52.2	47.8	28.4	29.9	6.7	19.4	30.6	20.9	0.7

(7) あなたのお住まいの近所には認知症だと思われる人がいますか。また、そのような人に対して配慮されていますか。(○はひとつ) 【N=1,303】

近所にいる認知症だと思われる人の状況については、「認知症だと思われる人がいるかどうか分からない」が72.6%で最も高く、次いで、「認知症だと思われる人がおり、気にかけている」(13.1%)、「認知症だと思われる人がいるが、特になにもしていない」(9.6%)が続いています。



ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「認知症だと思われる人がいるかどうか分からない」が最も高くなっています。

	合計	見守り活動に参加している人がおり、認知症だと思われる人がおり、気にかけている	認知症だと思われる人がおり、特になにもしていない	認知症だと思われる人がいるが、特になにもしていない	認知症だと思われる人がいるかどうか分からない	その他
全体	1272	0.7	13.2	9.6	72.6	3.9
北ブロック	387	0.8	15.0	9.3	69.5	5.4
中ブロック	449	0.9	10.9	9.8	75.9	2.4
南ブロック	435	0.5	14.0	9.7	71.7	4.1

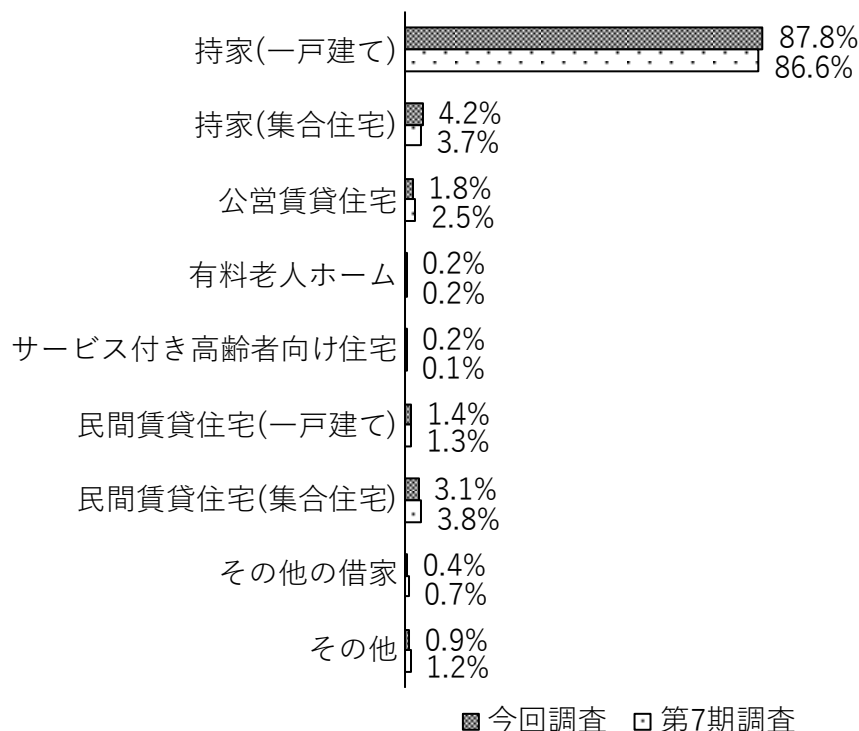
問9 これからの高齢者介護について

(1) 現在のお住まいは次のどれですか。(〇はひとつ)

【N=1,395、1,491(第7期調査)】

現在の住まいについては、「持家(一戸建て)」が87.8%と最も高く、「持家(集合住宅)」(4.2%)や「公営賃貸住宅」(1.8%)などはいずれも僅かとなっています。

第7期調査と比較すると、「持家(一戸建て)」が1.2ポイント上昇しています。



(2) あなたは、今後、もし介護が必要になった時、どのように介護してほしいとお考えですか。(〇はひとつ) 【N=1,353、1,414(第7期調査)】

今後、介護が必要になった時にどのように介護してほしいかについては、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が37.7%と最も高く、次いで、「わからない」(28.2%)、「見守りや食事サービスを受けられる住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅)で生活したい」(14.4%)が続いています。一方、「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」は7.8%となっています。

第7期調査と比較すると、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が3.8ポイント低下し、「わからない」が2.5ポイント上昇しています。

	7.8%	37.7%	14.4%	11.3%	28.2%	0.6%
今回調査						
第7期調査	7.4%	36.4%	14.4%	15.1%	25.7%	1.1%
	介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい	ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい	見守りや食事サービスを受けられる住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅)で生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい	わからない	現在、何らかの介護を受けている

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、『1人暮らし』と『その他』では「わからない」が最も高くなっていますが、その他の世帯状況ではいずれも全体結果と同様に「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が最も高くなっています。一方、『息子・娘との2世帯』では「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」が10.1%あり、他の世帯状況に比べて若干高くなっています。

	合計	家族に介護しても利用せず、介護保険制度を利用したい	ホームヘルプやデイサービスを受けて、在宅で生活したい	見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい	わからない	現在、何らかの介護を受けている
全体	1322	7.7	37.9	14.6	11.3	27.9	0.6
1人暮らし	226	5.3	28.3	20.8	13.3	31.0	1.3
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	575	8.0	38.3	14.3	12.3	27.0	0.2
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	55	7.3	38.2	14.5	7.3	32.7	-
息子・娘との 2世帯	247	10.1	43.7	12.6	10.5	21.9	1.2
その他	97	7.2	40.2	6.2	4.1	41.2	1.0
その他(2世代)	122	6.6	40.2	15.6	11.5	26.2	-

認定状況別クロス

認定状況別にみると、『わからない』では「わからない」が最も高くなっていますが、その他の認定状況では全体結果と同様に「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が最も高くなっています。一方、『要支援1』と『わからない』では「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」がそれぞれ10.9%、15.8%と、他の認定状況に比べて高くなっています。

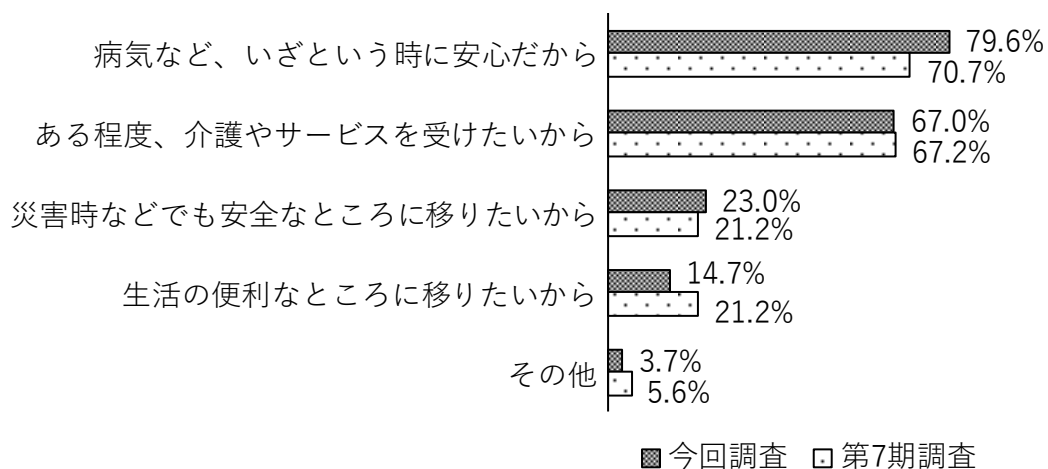
	合計	家族に介護保険制度を利用せず、介護に介護してもらいたい	ホームヘルプやデイサービスを受けて、在宅で生活したい	見守りや食事サービスを受けたい	特別養護老人ホームや老人施設などの施設に入所したい	わからない	現在、何らかの介護を受けている
全体	1309	7.6	38.1	14.4	11.5	28.0	0.5
要支援1	64	10.9	25.0	20.3	15.6	23.4	4.7
要支援2	24	8.3	41.7	16.7	8.3	16.7	8.3
事業対象者	7	-	42.9	14.3	14.3	28.6	-
受けていない	1195	7.4	38.9	14.2	11.3	28.1	0.1
わからない	19	15.8	26.3	-	10.5	47.4	-

【(2)で「3.見守りや食事サービスを受けられる住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅)で生活したい」を選んだ人に伺います。】

(2)-① その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○) 【N=191、198(第7期調査)】

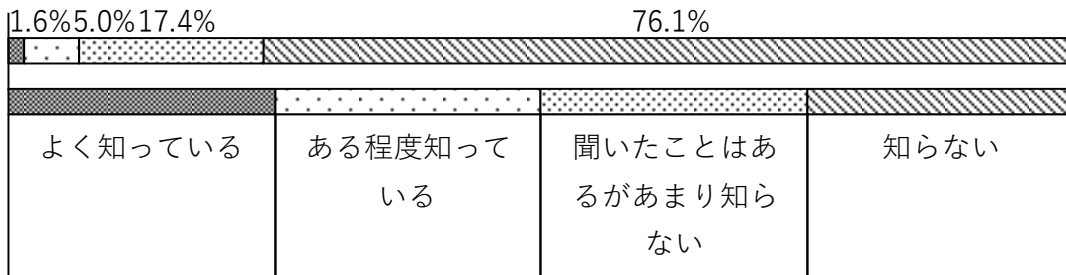
見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい理由については、「病気など、いざという時に安心だから」が79.6%で最も高く、次いで、「ある程度、介護やサービスを受けたいから」が67.0%で続いています。

第7期調査と比較すると、「病気など、いざという時に安心だから」が8.9ポイント上昇し、「生活の便利なところに移りたいから」が6.5ポイント低下しています。



(3) あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」のことを知っていますか。(〇はひとつ) 【N=1,330】

「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」の認知状況については、『知っている』(「よく知っている」(1.6%)と「ある程度知っている」(5.0%)の合計)は6.6%、『知らない』(「聞いたことはあるがあまり知らない」(17.4%)と「知らない」(76.1%)の合計)は93.5%と、認知度は低くなっています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも全体結果と同様に『知らない』が90%以上となっています。

		合計	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるがあまり知らない	知らない
65～74歳	計	661	2.0	5.0	15.9	77.2
	男	306	2.0	3.3	13.4	81.4
	女	355	2.0	6.5	18.0	73.5
75～84歳	計	455	1.1	4.2	20.0	74.7
	男	220	2.3	3.6	17.7	76.4
	女	235	-	4.7	22.1	73.2
85歳以上	計	86	1.2	4.7	16.3	77.9
	男	34	-	2.9	11.8	85.3
	女	52	1.9	5.8	19.2	73.1

(4) 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりもかなり上昇することが予測されています。介護サービスと介護保険料とのバランスについてどう思いますか。(〇はひとつ)

【N=1,354、1,377(第7期調査)】

介護サービスと介護保険料とのバランスについては、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が51.4%で最も高く、次いで、「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が26.0%で続いています。

第7期調査と比較すると、「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が1.5ポイント、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が1.7ポイント、それぞれ上昇し、「わからない」が2.1ポイント、「介護保険料が上がっても良いので、介護サービスは大いに充実すべきだ」が1.8ポイント、それぞれ低下しています。

今回調査	2.1%	26.0%	51.4%	5.3%	15.1%
第7期調査	3.9%	24.5%	49.7%	4.6%	17.2%
	介護保険料が上がっても良いので、介護サービスは大いに充実すべきだ	介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない	介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ	介護サービスが低下しても構わないので、介護保険料は上げるべきでない	わからない

世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が最も高くなっており、特に『夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)』と『息子・娘との2世帯』、『その他(2世代)』では過半数を占めています。

	合計	い に 充 実 す べ き だ	い の で 、 介 護 サ ー ビ ス が 上 が つ て も 大 良	介 護 保 険 料 が や む を 得 な い	が る の は 、 介 護 保 険 料 が 上	す る な ら 、 介 護 保 険 料 が 充 実	介 護 サ ー ビ ス が 今 よ り 充 実	上 昇 は 抑 え る べ き だ	き る 範 囲 で 、 介 護 保 険 料 の	介 護 サ ー ビ ス が 現 状 維 持 で	は 上 げ る べ き で な い	構 わ な い の で 、 介 護 保 険 料	介 護 サ ー ビ ス が 低 下 し て も	わ か ら ない
全体	1318	2.0	26.3	51.7	4.9	15.2								
1人暮らし	223	1.8	31.8	44.8	3.6	17.9								
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	578	2.1	24.2	54.8	4.8	14.0								
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	54	-	29.6	48.1	7.4	14.8								
息子・娘との 2世帯	244	2.9	25.8	52.5	4.1	14.8								
その他	96	3.1	22.9	45.8	10.4	17.7								
その他(2世代)	123	-	28.5	53.7	3.3	14.6								

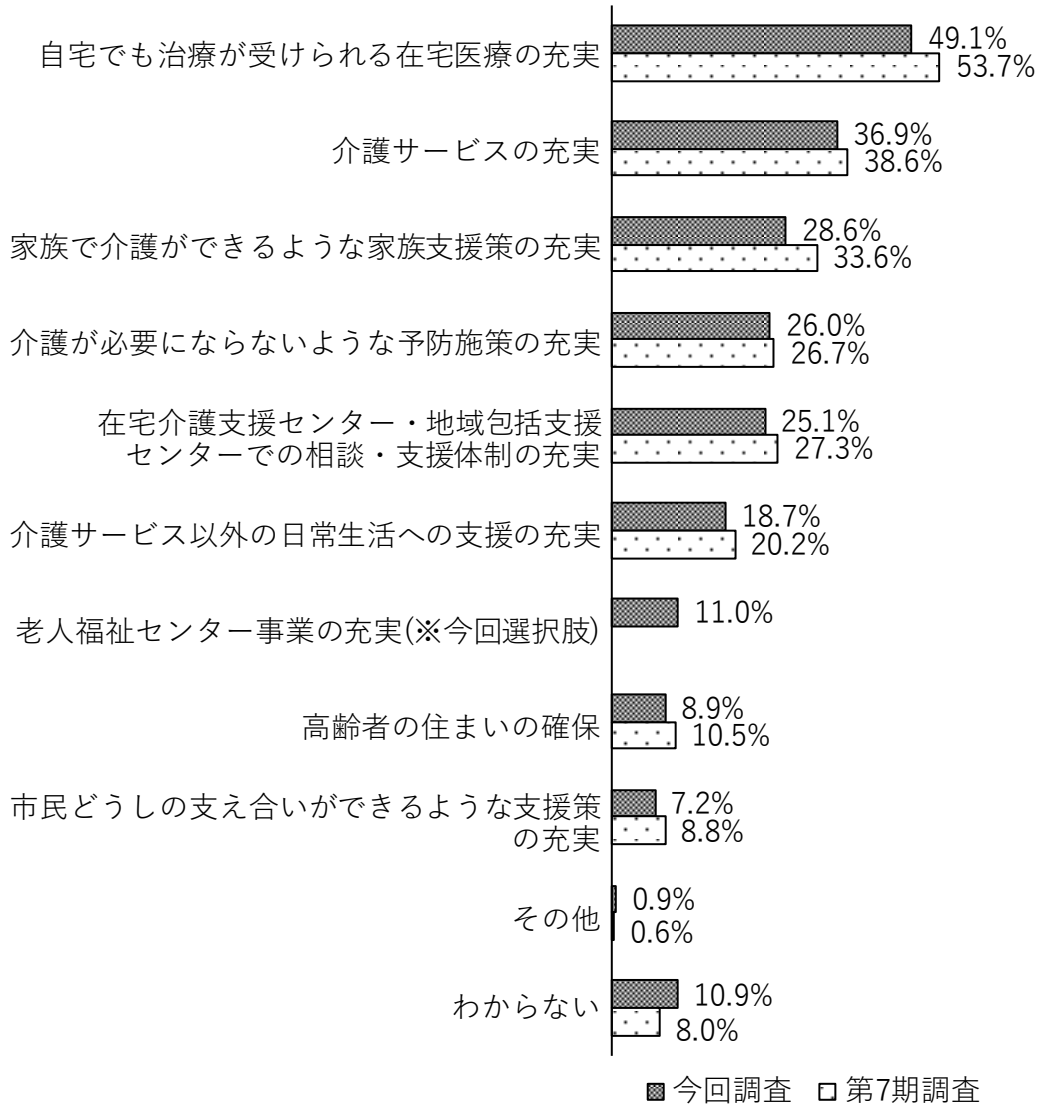
認定状況別クロス

認定状況別にみると、いずれの認定状況でも全体結果と同様に「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇を抑えるべきだ」が最も高くなっており、特に『事業対象者』では85.7%に上っています。

	合計	い に 充 実 す べ き だ	い の で 、 介 護 サ ー ビ ス は 大	介 護 保 険 料 が 上 が つ て も 良	が る の は や む を 得 な い	す る な ら 、 介 護 保 険 料 が 上	介 護 サ ー ビ ス が 今 よ り 充 実	上 昇 は 抑 え る べ き だ	き る 範 囲 で 、 介 護 保 険 料 の	介 護 サ ー ビ ス が 現 状 維 持 で	は 上 げ る べ き で な い	構 わ な い の で 、 介 護 保 険 料	介 護 サ ー ビ ス が 低 下 し て も	わ か ら な い
全体	1307	1.9	26.3	51.6	4.9	15.2								
要支援1	65	-	36.9	36.9	1.5	24.6								
要支援2	22	4.5	27.3	40.9	4.5	22.7								
事業対象者	7	-	14.3	85.7	-	-								
受けていない	1195	2.0	25.9	52.8	5.0	14.2								
わからない	18	-	16.7	27.8	11.1	44.4								

(5) 高齢者への介護体制の充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(〇は3つまで) 【N=1,343、1,424(第7期調査)】

高齢者への介護体制充実のため、行政に希望することとしては、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が49.1%で最も高く、次いで、「介護サービスの充実」(36.9%)、「家族で介護ができるような家族支援策の充実」(28.6%)が続いています。



世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が最も高くなっています。次いで、『その他』では「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が、その他の世帯状況では「介護サービスの充実」が続いています。

	合計	自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	談・域在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実	介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	実老人福祉センター事業の充実	高齢者の住まいの確保	その他	わからない
全体	1307	49.3	26.2	28.2	7.3	25.4	37.5	19.0	10.9	8.9	0.9	10.8
1人暮らし	220	37.7	26.8	7.7	10.0	23.2	33.2	20.0	11.4	14.5	1.4	16.8
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	572	52.1	26.4	32.3	7.2	26.4	39.3	20.3	9.8	7.2	1.0	9.4
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	52	48.1	34.6	25.0	13.5	25.0	40.4	11.5	11.5	9.6	1.9	1.9
息子・娘との 2世帯	244	55.3	26.6	34.8	5.3	23.0	41.4	15.2	10.7	8.2	0.4	8.6
その他	97	43.3	17.5	29.9	7.2	25.8	26.8	23.7	10.3	7.2	-	14.4
その他(2世代)	122	50.0	26.2	32.8	4.9	29.5	36.1	18.0	16.4	9.0	0.8	11.5

ブロック別クロス

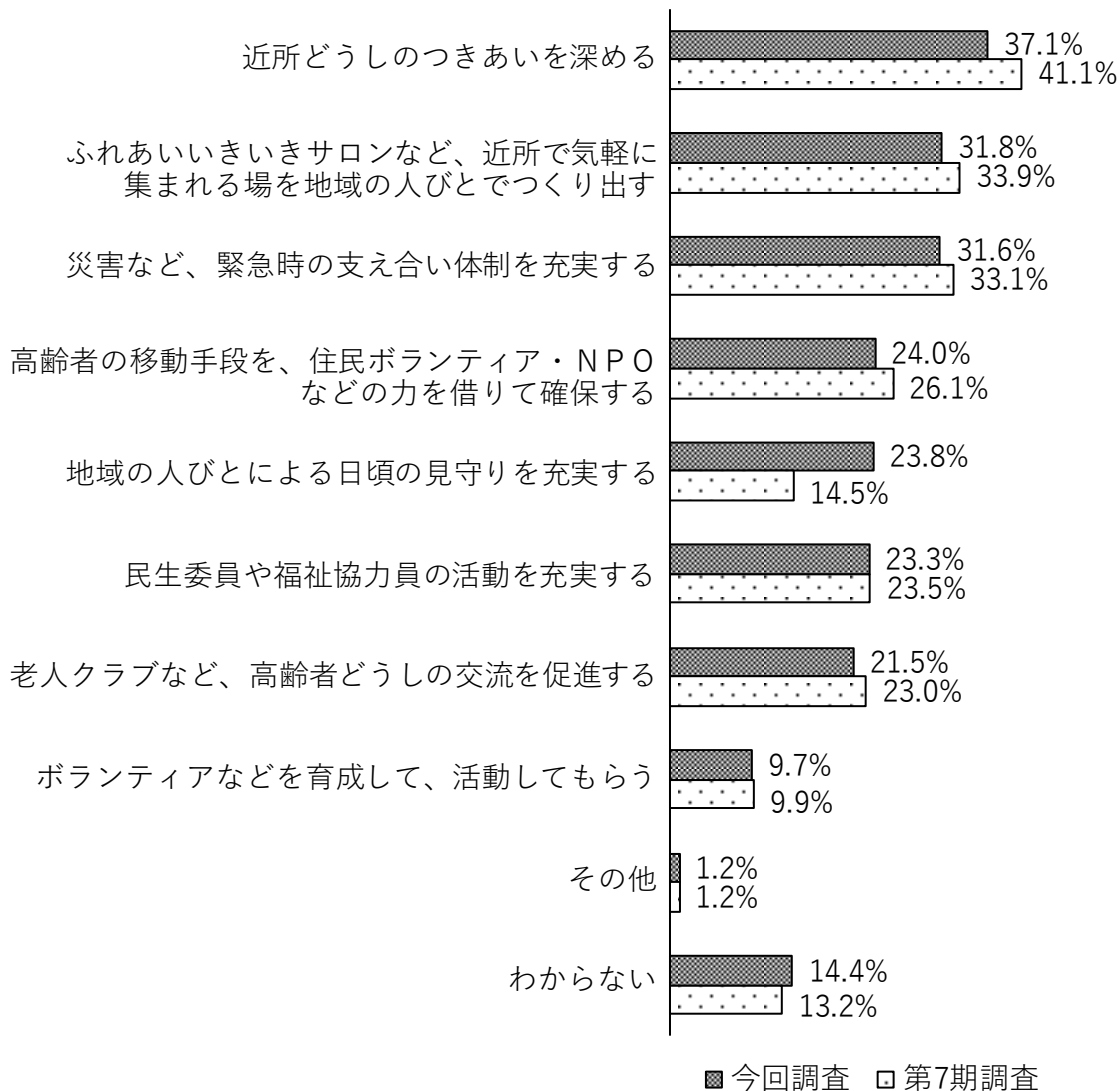
ブロック別にみると、いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が最も高く、「介護サービスの充実」が続いています。

	合計	自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	談・域在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実	介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	実老人福祉センター事業の充実	高齢者の住まいの確保	その他	わからない
全体	1311	49.2	26.2	28.5	7.4	25.2	37.6	18.9	11.1	8.7	0.9	10.8
北ブロック	395	51.1	25.1	29.1	8.1	25.6	39.2	17.2	10.9	6.1	1.5	11.1
中ブロック	472	46.4	27.8	26.5	6.6	24.8	36.9	19.1	12.5	10.8	0.6	11.2
南ブロック	442	50.5	25.8	29.9	7.7	25.6	37.1	20.1	9.7	8.8	0.7	10.0

(6) 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで) 【N=1,347、1,419(第7期調査)】

高齢者が地域で暮らし続けるために重要なことは、「近所どうしのつきあいを深める」が37.1%で最も高く、次いで、「ふれあいいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」(31.8%)、「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」(31.6%)が続き、コミュニティ組織や交流機会、緊急時対策が重視されています。

第7期調査と比較すると、「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」が9.3ポイント上昇する一方、「近所どうしのつきあいを深める」が4.0ポイント低下しています。



世帯状況別クロス

世帯状況別にみると、『息子・娘との2世帯』では「ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」が最も高くなっていますが、その他の世帯状況では全体結果と同様に「近所どうしのつきあいを深める」が最も高くなっています。

	合計	老人クラブなどの交流を促進する	近所どうしのつきあいを深める	近所であいいいききサロンの人びとでつくり出す	ふれあいいいききサロンなど、近所であいいいききサロンの見守りを実施する	地域の人びとによる日頃の見守りを実施する	民生委員や福祉協力員の活動を	ボランティアなどを育成して、活動してもらう	ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する	高齢者の移動手段を、住民ボランティアを、住民ボランティア	災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	その他	わからない
全体	1312	21.6	37.0	31.8	24.0	23.6	10.0	24.2	31.6	1.2	14.5		
1人暮らし	223	22.0	39.9	30.0	18.8	25.6	7.2	18.4	29.1	-	18.4		
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	576	19.3	36.1	31.8	26.6	24.5	10.6	25.3	32.1	1.0	14.6		
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	51	23.5	37.3	33.3	17.6	21.6	5.9	23.5	27.5	2.0	15.7		
息子・娘との 2世帯	243	23.5	36.6	37.4	25.9	21.0	8.6	24.7	32.9	2.5	11.1		
その他	98	26.5	33.7	21.4	20.4	19.4	14.3	24.5	31.6	2.0	18.4		
その他(2世代)	121	23.1	39.7	31.4	23.1	25.6	13.2	28.1	33.1	0.8	9.9		

認定状況別クロス

認定状況別にみると、『事業対象者』では「ふれあいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」が最も高くなっています。また、『要支援2』では「近所どうしのつきあいを深める」と「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が同率で高くなっています。『要支援1』と『受けていない』、『わからない』では全体結果と同様に「近所どうしのつきあいを深める」が最も高くなっています。

	合計	老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する	近所どうしのつきあいを深める	近所であいきいきサロンなど、地域の人びとでつくり出される場を地域	ふれあいきいきサロンなど、地域の人びとによる日頃の見守りを充実する	民生委員や福祉協力員の活動を充実する	ボランティアなどを育成して、活動してもらう	ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する	高齢者の移動手段を、住民ボランティアを、住民ボランティア	災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	その他	わからない
全体	1300	21.6	37.3	31.8	24.2	23.6	9.7	24.0	31.6	1.2	14.2	
要支援1	63	22.2	41.3	22.2	22.2	27.0	12.7	28.6	25.4	-	14.3	
要支援2	21	23.8	33.3	19.0	14.3	28.6	4.8	19.0	33.3	4.8	19.0	
事業対象者	7	28.6	-	85.7	-	42.9	14.3	42.9	28.6	-	-	
受けていない	1190	21.3	37.2	32.4	24.6	23.1	9.5	23.9	31.9	1.3	14.2	
わからない	19	36.8	47.4	21.1	21.1	31.6	15.8	15.8	31.6	-	15.8	

ブロック別クロス

ブロック別にみると、いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「近所どうしのつきあいを深める」が最も高くなっています。また、『北ブロック』では「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が、『中ブロック』では「ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」が、『南ブロック』では「ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」と「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が同率で、それぞれ2番目に高くなっています。

	合計	老人クラブなどの交流を促進する	近所どうしのつきあいを深める	近所であいいききサロンの人びとでつくり出す	ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す	地域の人びとによる日頃の見守りを充実する	民生委員や福祉協力員の活動を充実する	ボランティアなどを育成して、活動してもらう	ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する	高齢者の移動手段を、住民ボランティアの力を借りて確保する	災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	その他	わからない
全体	1317	21.6	37.2	31.8	24.1	23.5	9.9	24.1	31.7	1.2	14.3		
北ブロック	387	19.9	37.7	29.2	26.1	23.0	11.6	25.6	33.3	1.3	12.4		
中ブロック	480	22.5	36.9	34.2	26.3	22.1	8.3	25.2	30.2	1.5	14.4		
南ブロック	448	22.1	37.1	31.7	20.1	25.7	10.0	21.9	31.7	0.9	15.6		